

登録数—部位別 <2021年>

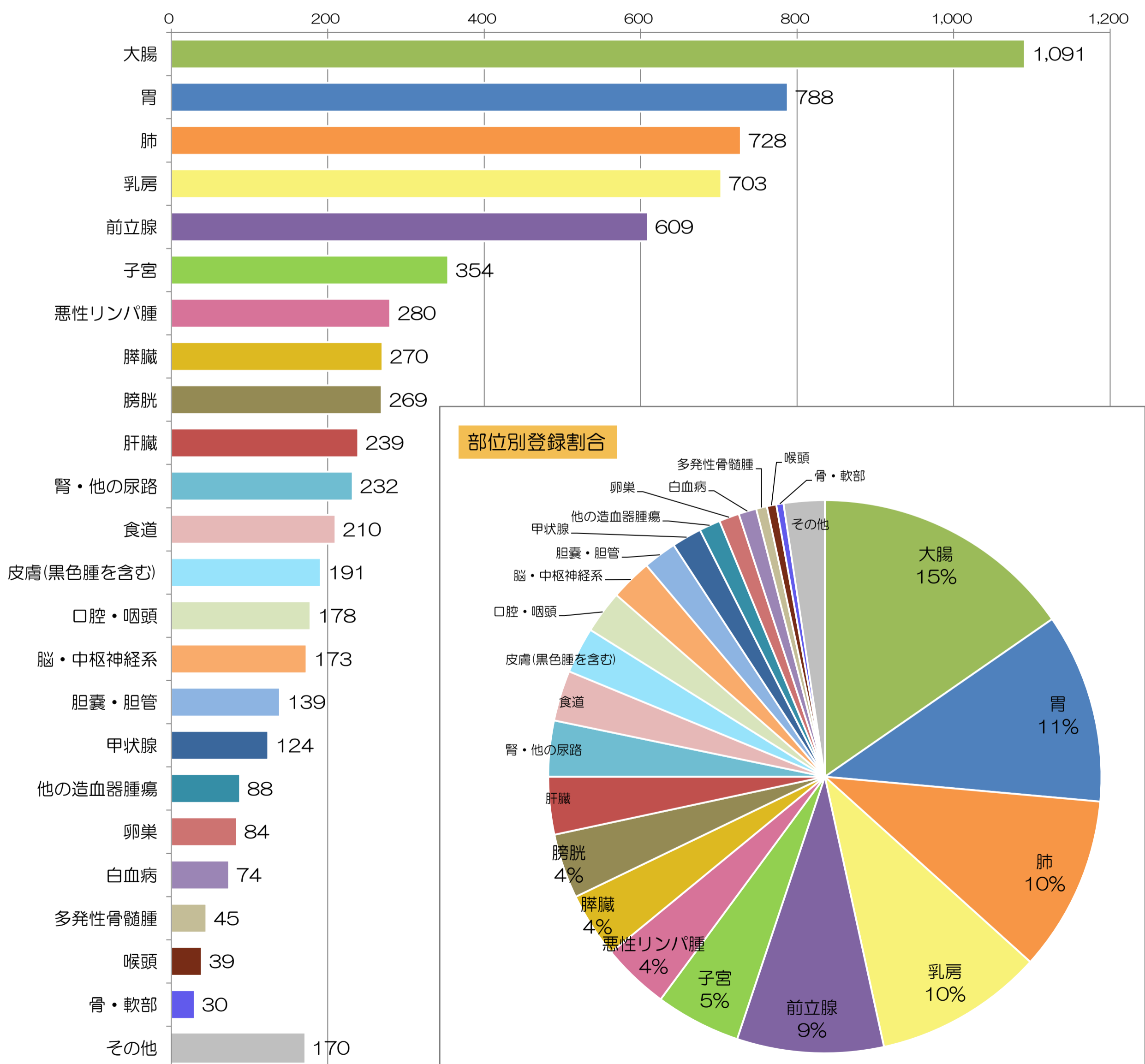
登録数は、男性は3,942件、女性は3,166件で合計は7,108件となる。

部位別には、男性では、大腸が最も多く646件、次いで、前立腺が609件、胃が550件、肺が485件、膀胱207件、女性では、乳房が最も多く699件、次いで大腸が445件、子宮が354件、肺が243件、胃が238件の順となる。

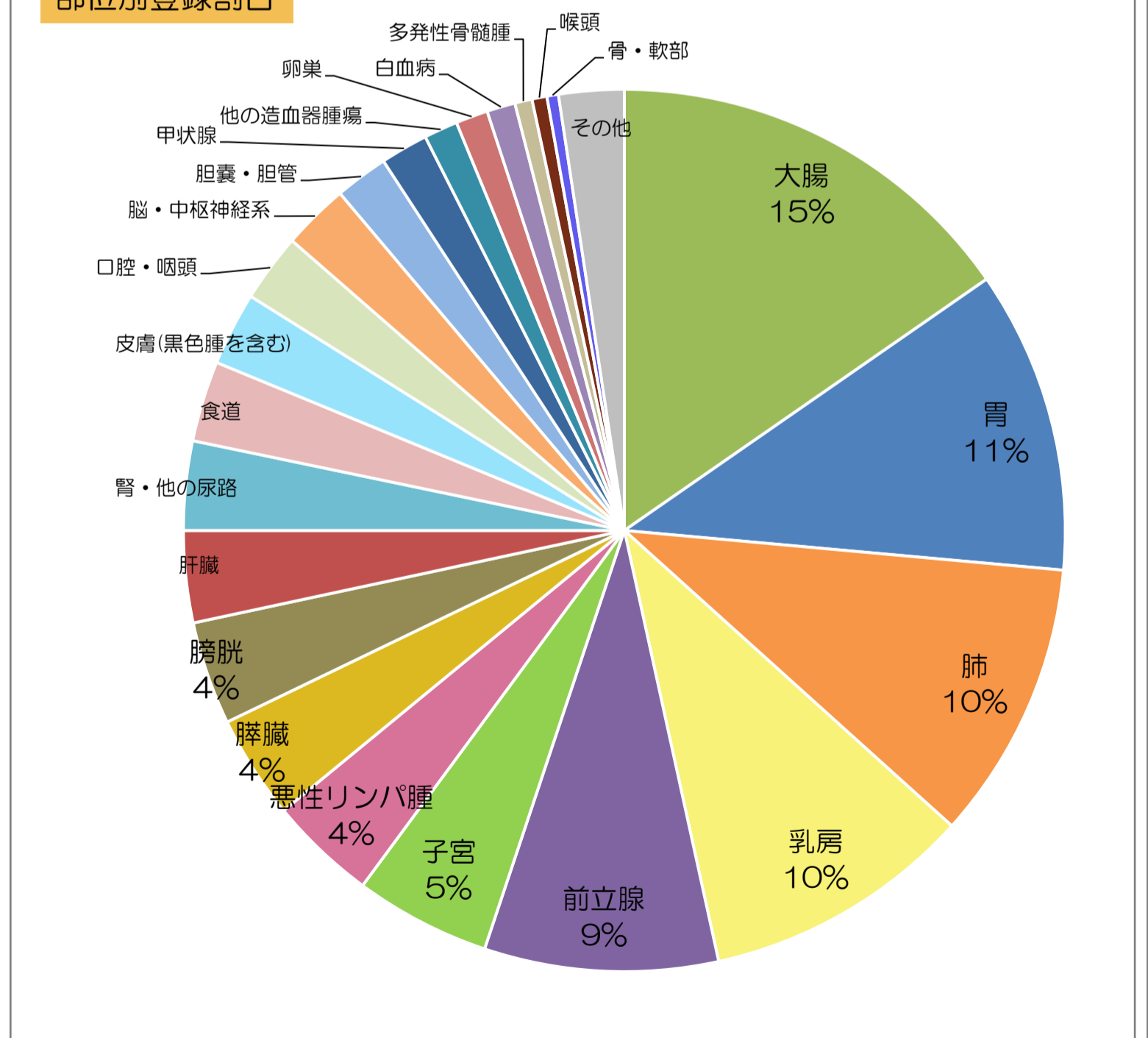
男女別割合は、男性が55%、女性が45%で、脳・中枢神経系、甲状腺、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく4.4倍、次いで口腔・咽頭が3.5倍、膀胱が3.4倍、肝臓、胃などが2倍強である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	138	171	550	646	171	76	135	38	485	16	98	(4-6)	-	-	609	207	144	70	38	134	17	41	56	98	3,942
女性	40	39	238	445	68	63	135	(1-3)	243	14	93	699	354	84	-	62	88	103	86	146	28	33	32	72	3,166
合計	178	210	788	1,091	239	139	270	39	728	30	191	703	354	84	609	269	232	173	124	280	45	74	88	170	7,108

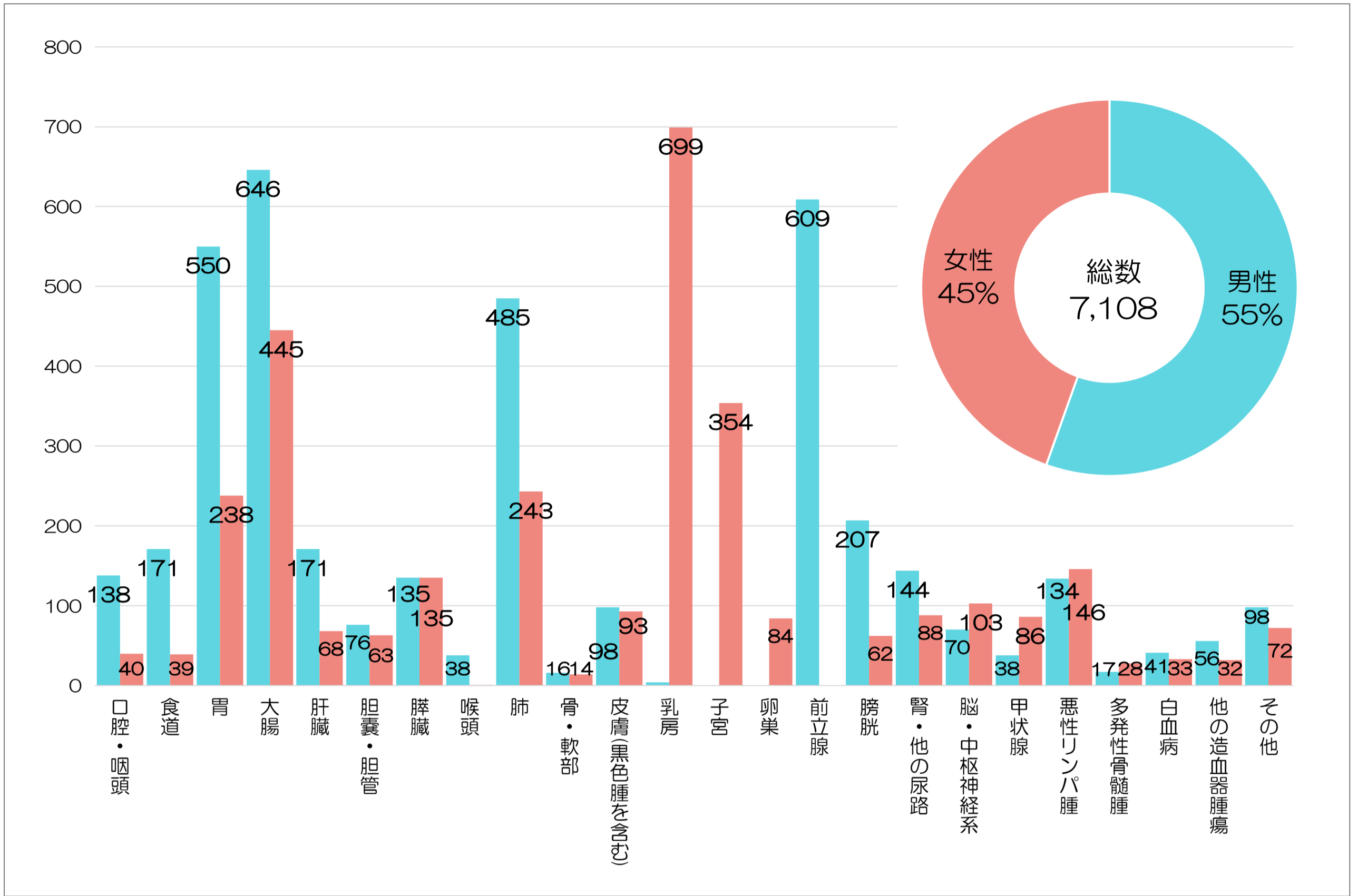
部位別登録数



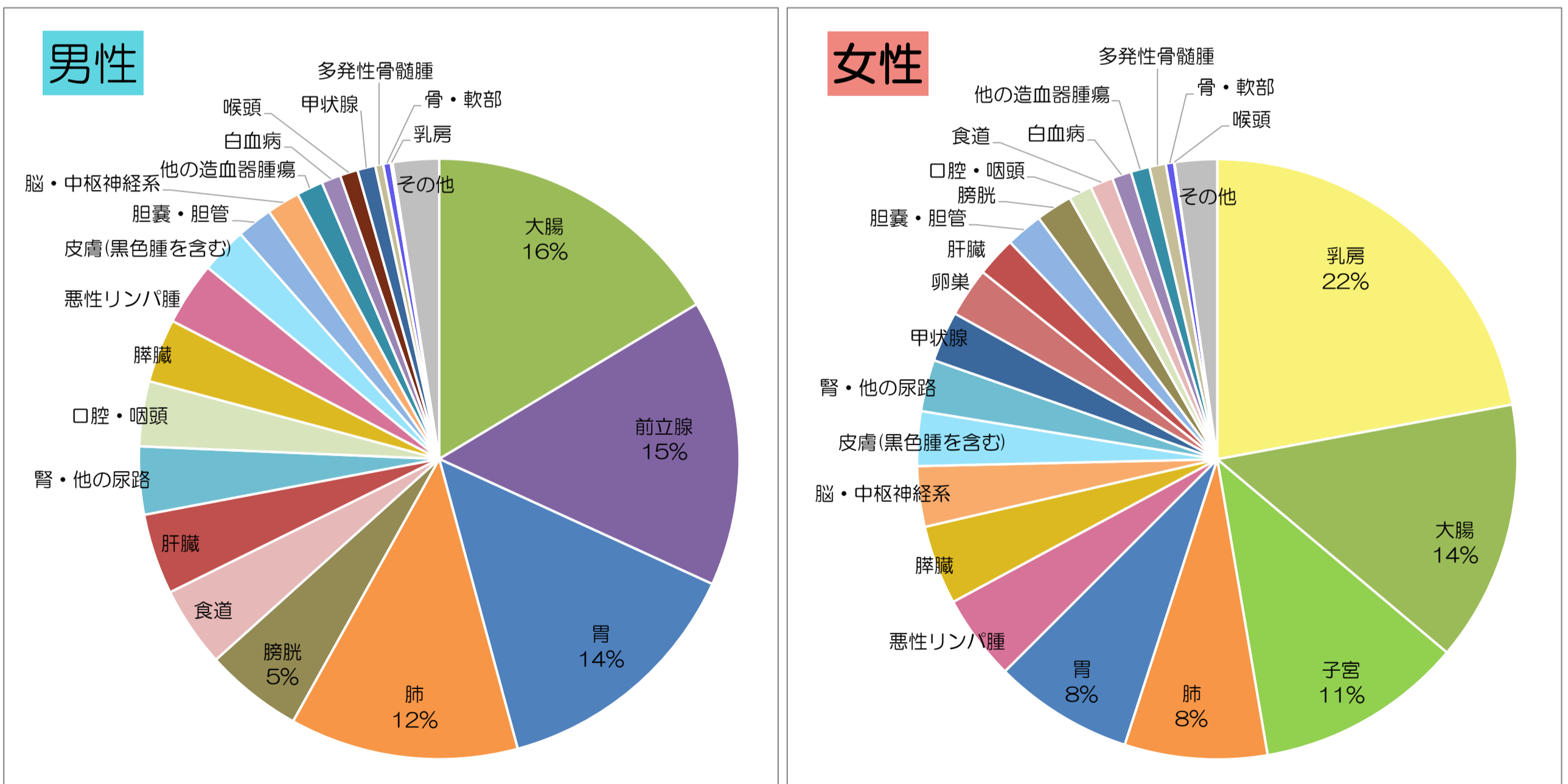
部位別登録割合



登録数一部位別【男女別】〈2021年〉



部位別登録割合【男女別】〈2021年〉

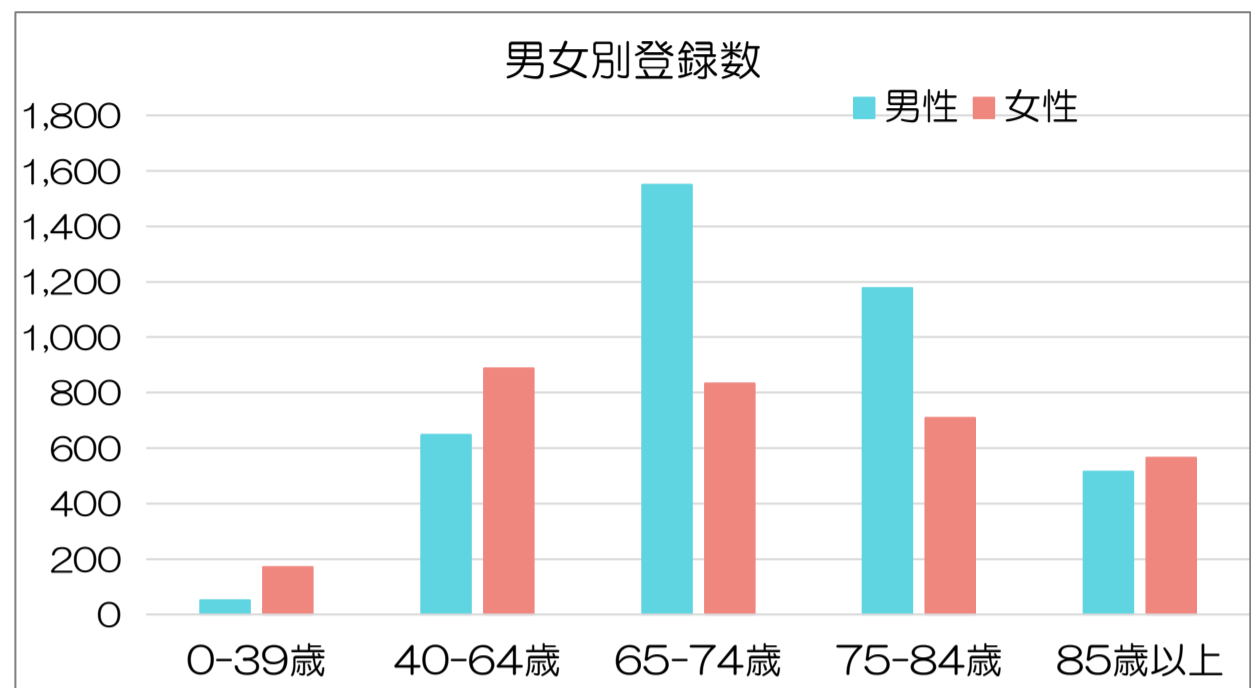


登録数一年齢階級別【男女別】〈2021年〉

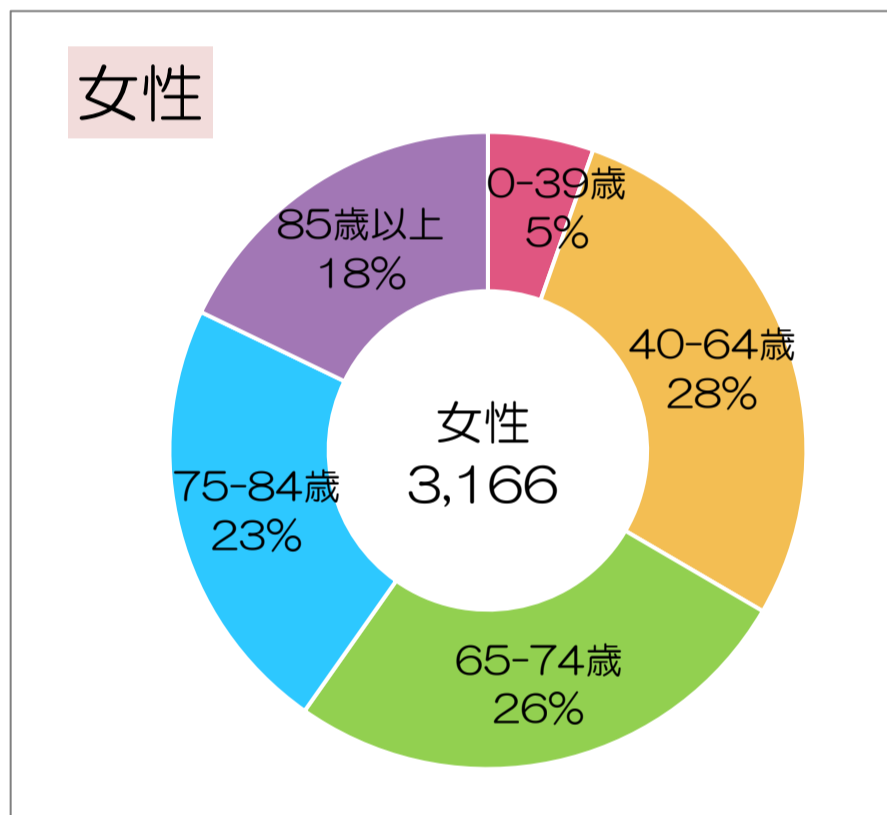
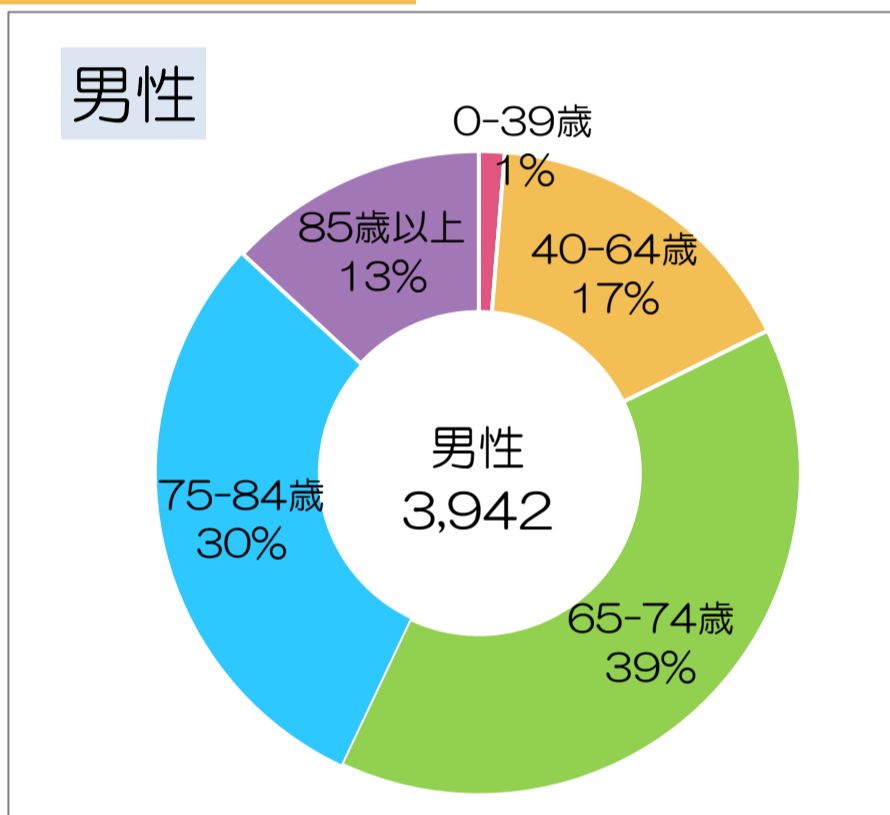
年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで65-74歳、75-84歳の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性で82%、女性では67%を占め、男性が15%も多い。

部位別には、0-39歳の男性では、多い順に脳・中枢神経系、悪性リンパ腫など、女性では、子宮、乳房、40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65-74歳の男性では、大腸、前立腺、女性では、乳房、大腸、75-84歳の男性では、前立腺、大腸、胃、女性では、大腸、乳房、肺、85歳以上では、男性は前立腺、胃、肺、大腸、女性は大腸、胃である。

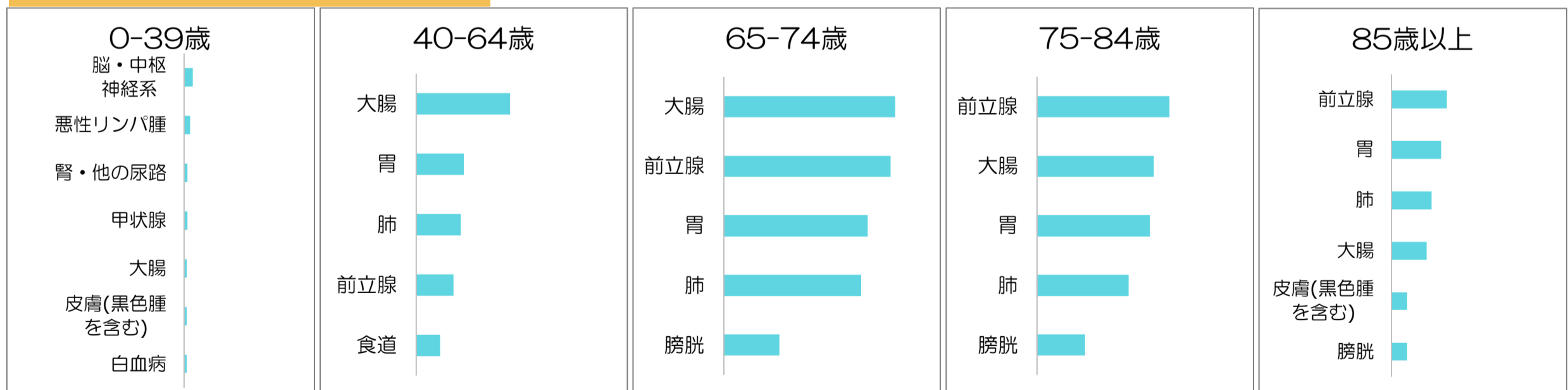
年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	51	170	221
40-64歳	647	888	1,535
65-74歳	1,550	834	2,384
75-84歳	1,178	709	1,887
85歳以上	516	565	1,081
合計	3,942	3,166	7,108



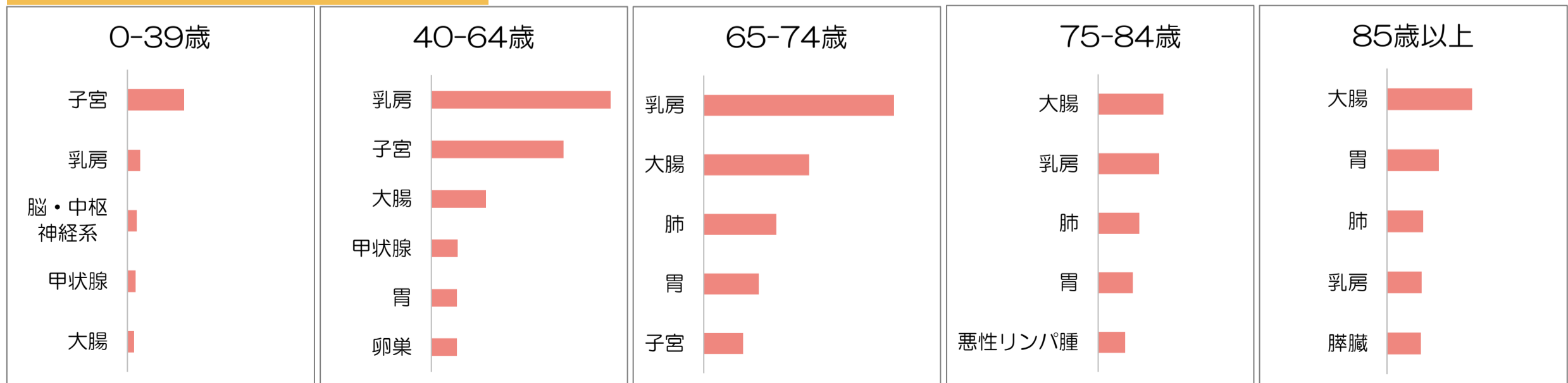
年齢階級別登録割合



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



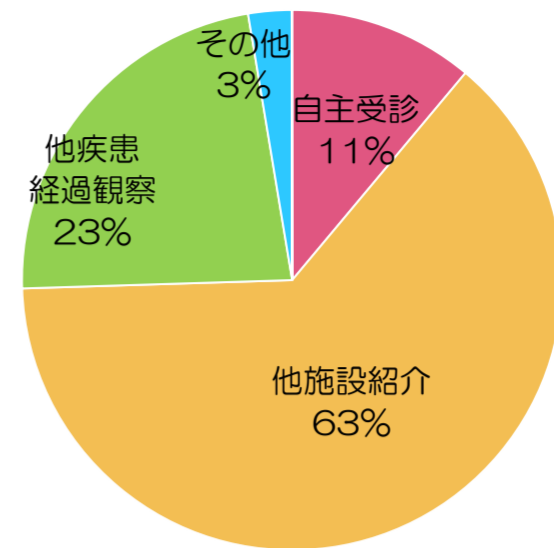
年齢階級別登録数の上位5部位—女性



来院経路別登録数 <2021年>

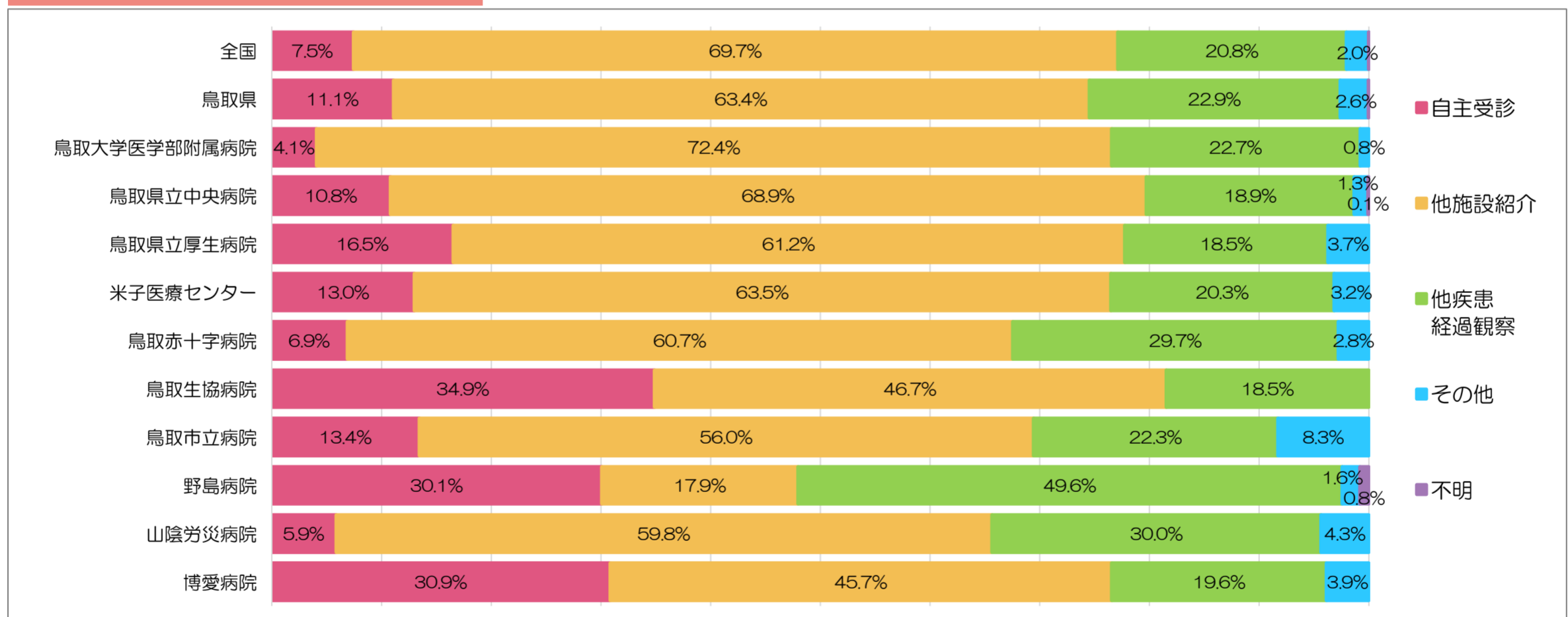
来院経路別には、「他施設紹介」が63%を占めて最も多く、次いで「他疾患経過観察」が23%、「自主受診」は11%と少ない。
 全国比較では、「自主受診」は全国より多く、「他施設紹介」は全国より少なく、「他疾患経過観察中」は全国より多い。
 施設別には、「自主受診」は鳥取生協病院、博愛病院、野島病院で最も多く、「他施設紹介」は鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院で最も多い。
 部位別には、「自主受診」は乳房が最も多く、「他施設紹介」は子宮体部が最も多く、次いで前立腺が多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

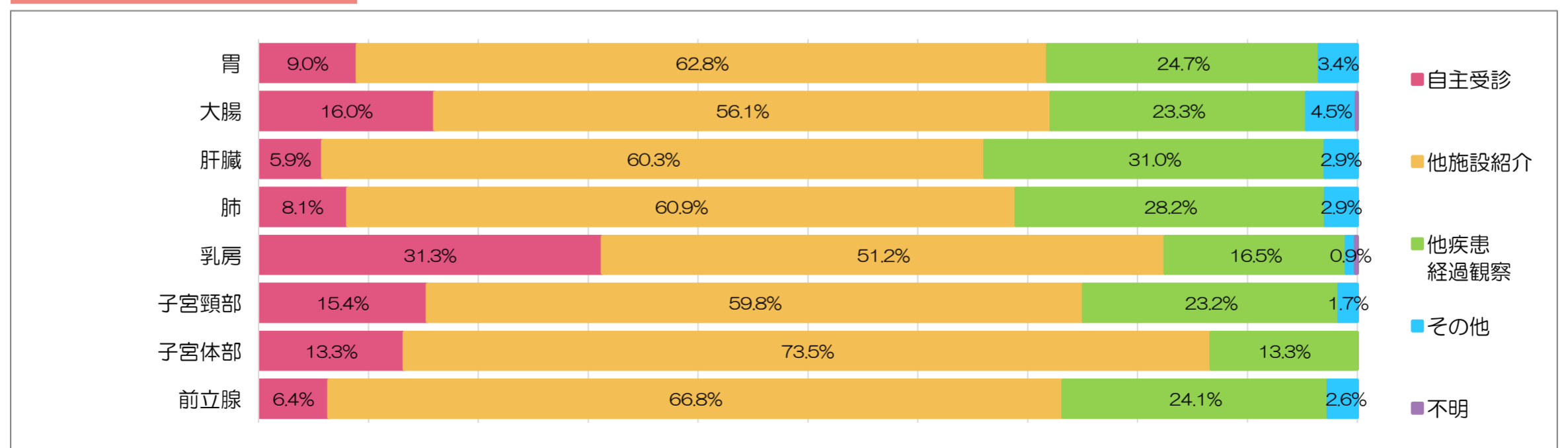


	自主受診	他施設紹介	他疾患経過観察	その他	不明	合計
全国	79,821	746,334	223,164	21,713	240	1,071,272
鳥取県	788	4,508	1,626	184	(1-3)	7,108
鳥取大学医学部附属病院	83	1,470	460	16	-	2,029
鳥取県立中央病院	121	771	212	14	(1-3)	1,119
鳥取県立厚生病院	124	459	139	28	-	750
米子医療センター	94	459	147	23	-	723
鳥取赤十字病院	57	503	246	23	-	829
鳥取生協病院	68	91	36	-	-	195
鳥取市立病院	73	304	121	45	-	543
野島病院	37	22	61	(1-3)	(1-3)	123
山陰労災病院	27	275	138	20	-	460
博愛病院	104	154	66	13	-	337

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



来院経路別登録割合（主要部位）



発見経緯別登録数 <2021年>

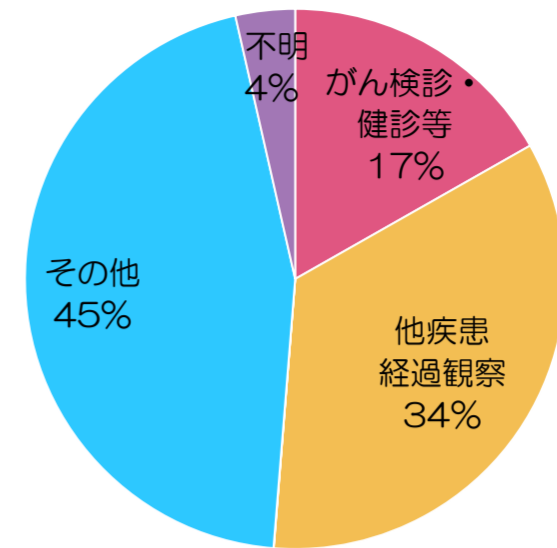
発見経緯別には、「他疾患経過観察」が34%で最も多く、「がん検診・健診等」は17%と少ない。

なお、「その他」が45%と多いが、「その他」には自覚症状による受診も含まれるため、割合が多くなっていると予測される。

全国比較では、「がん検診・健診等」は鳥取県が全国より約2%多く、施設別には博愛病院が28.5%と最も多い。

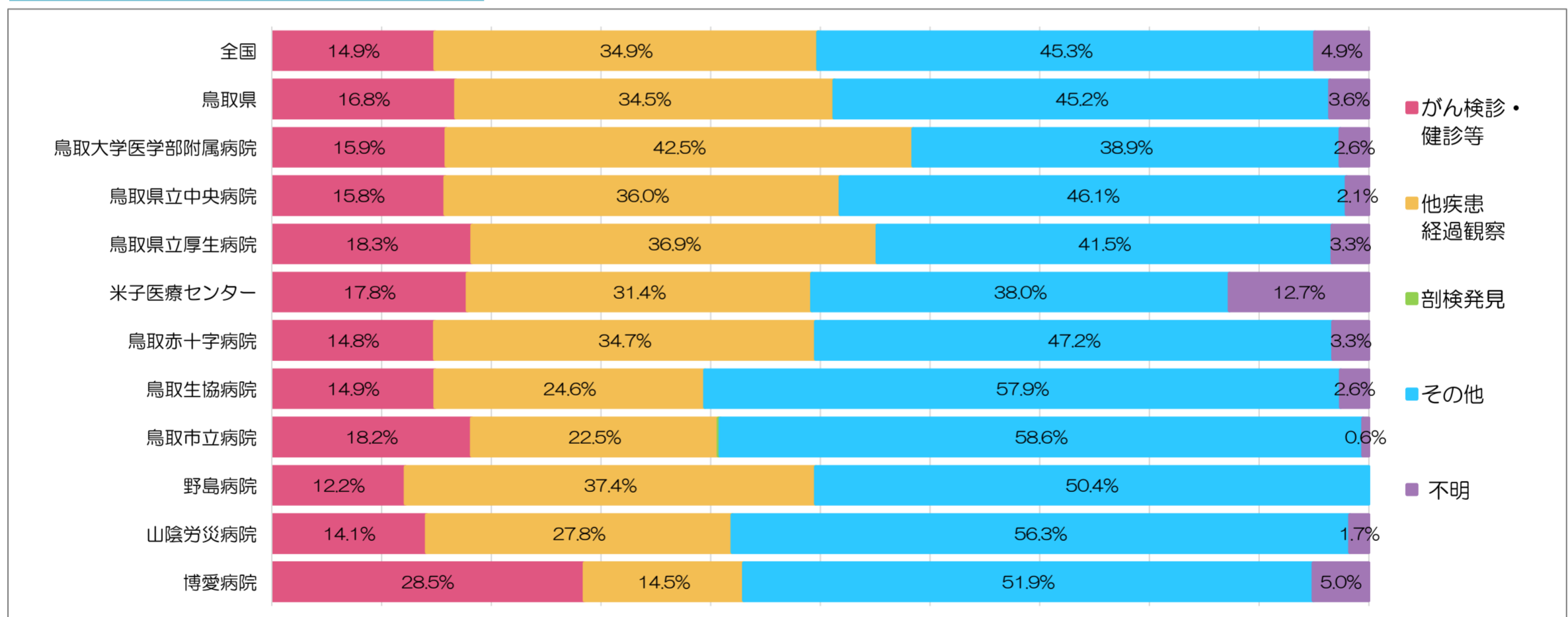
部位別には、「がん検診・健診等」は子宮頸部、胃、乳房、大腸、前立腺の順で多く、「他疾患経過観察」は肝臓が約60%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）

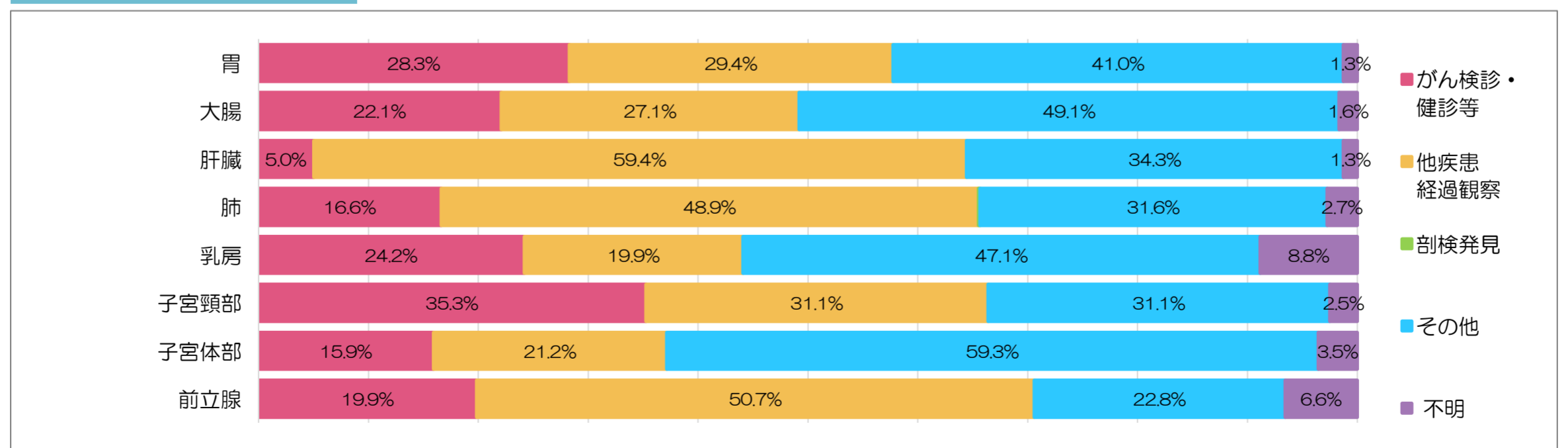


	がん検診・健診等	他疾患経過観察	剖検発見	その他	不明	合計
全国	159,600	373,686	51	485,401	52,534	1,071,272
鳥取県	1,193	2,451	(1-3)	3,210	253	7,108
鳥取大学医学部附属病院	323	863	-	790	53	2,029
鳥取県立中央病院	177	403	-	516	23	1,119
鳥取県立厚生病院	137	277	-	311	25	750
米子医療センター	129	227	-	275	92	723
鳥取赤十字病院	123	288	-	391	27	829
鳥取生協病院	29	48	-	113	(4-6)	195
鳥取市立病院	99	122	(1-3)	318	(1-3)	543
野島病院	15	46	-	62	-	123
山陰労災病院	65	128	-	259	(7-9)	460
博愛病院	96	49	-	175	17	337

発見経緯別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



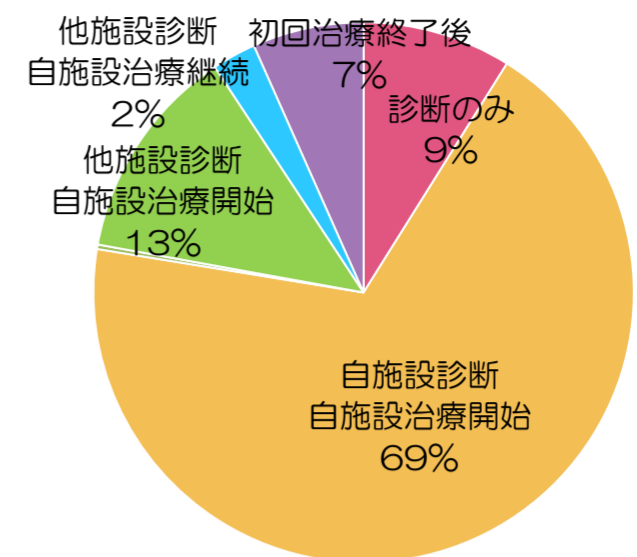
発見経緯別登録割合（主要部位）



症例区分別登録数 <2021年>

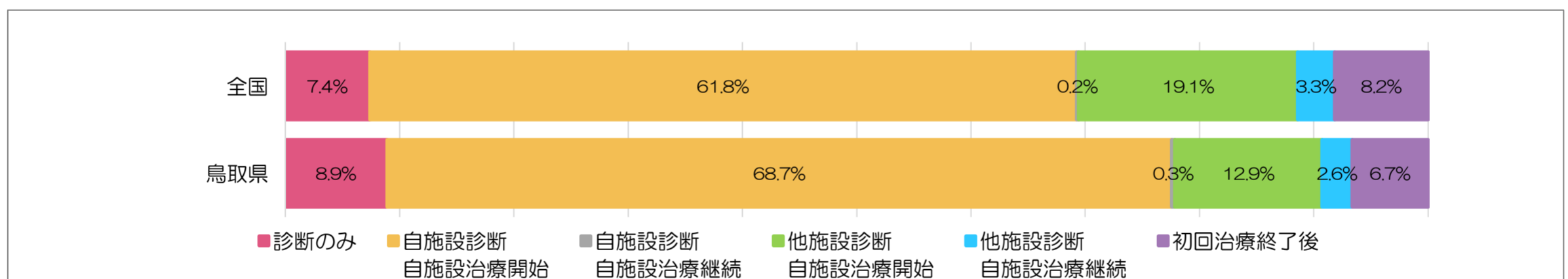
症例区分別には、「診断のみ」は9%で、ほとんどは自施設で診断し、自施設で初回治療を行う「自施設診断自施設治療開始」(69%)であり、他施設で診断し、自施設で初回治療を行う「他施設診断自施設治療開始」は13%である。全国比較では、鳥取県は「診断のみ」と「自施設治療開始」が多く、「他施設診断自施設治療開始・継続」と「初回治療終了後」の割合は少ない。施設別には、「診断のみ」は山陰労災病院、博愛病院など準拠点病院で高い。拠点病院では、特に鳥取大学医学部附属病院で「診断のみ」が3.2%で最も低く、「他施設診断自施設治療開始」は28%で最も高い。他方、「初回治療終了後」は、米子医療センターの19.4%が最も高く、次いで鳥取県立厚生病院の14.5%、鳥取生協病院の11.8%の順で高い。

症例区分別登録割合 (鳥取県)

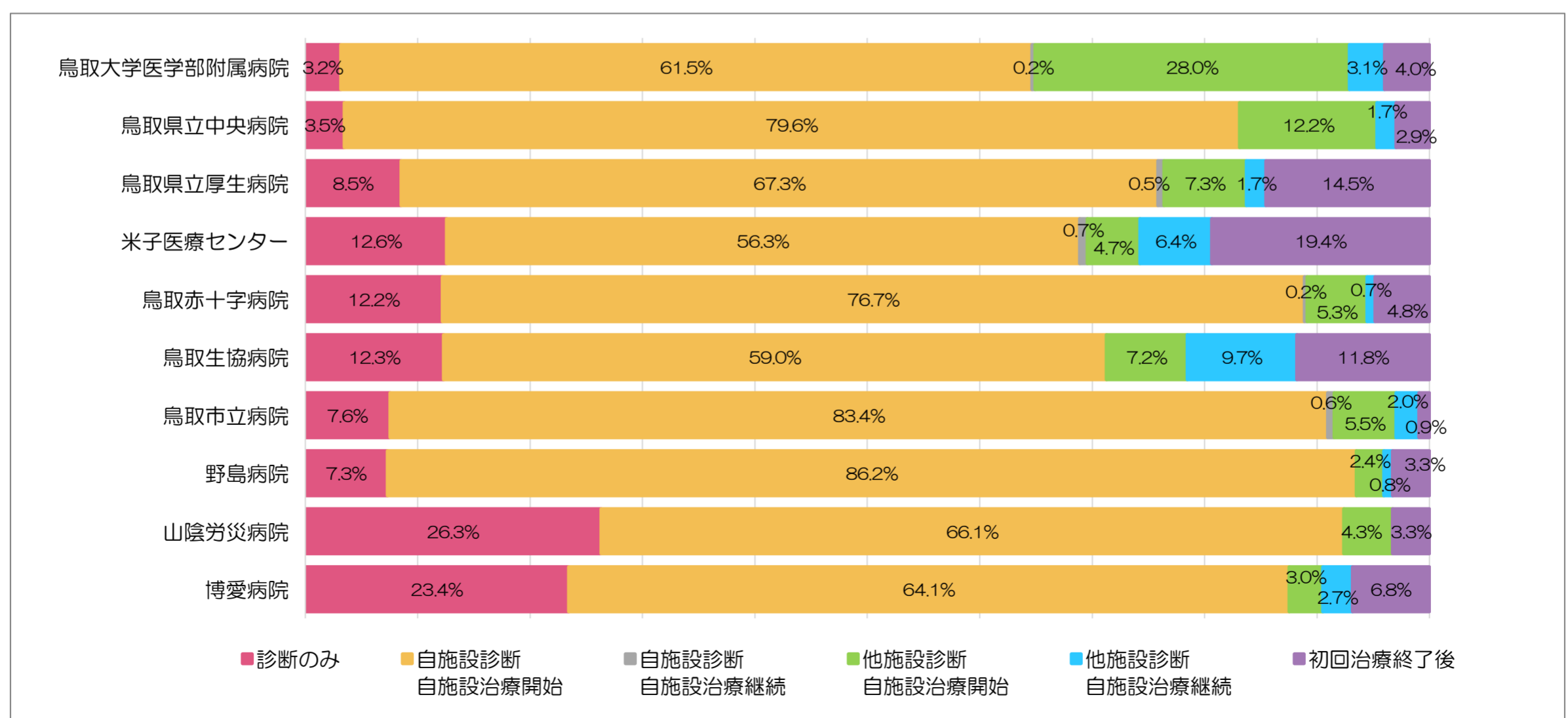


	診断のみ	自施設診断 自施設治療開始	自施設診断 自施設治療継続	他施設診断 自施設治療開始	他施設診断 自施設治療継続	初回治療終了後	合計
全国	79,214	662,528	2,017	205,079	34,841	87,593	1,071,272
鳥取県	633	4,881	19	915	187	473	7,108
鳥取大学医学部附属病院	64	1,248	(4-6)	568	63	81	2,029
鳥取県立中央病院	39	891	-	137	19	33	1,119
鳥取県立厚生病院	64	505	(4-6)	55	13	109	750
米子医療センター	91	407	(4-6)	34	46	140	723
鳥取赤十字病院	101	636	(1-3)	44	(4-6)	40	829
鳥取生協病院	24	115	-	14	19	23	195
鳥取市立病院	41	453	(1-3)	30	11	(4-6)	543
野島病院	(7-9)	106	-	(1-3)	(1-3)	(4-6)	123
山陰労災病院	121	304	-	20	-	15	460
博愛病院	79	216	-	10	(7-9)	23	337

症例区分別登録割合 (全国・鳥取県)



症例区分別登録割合 (施設別)



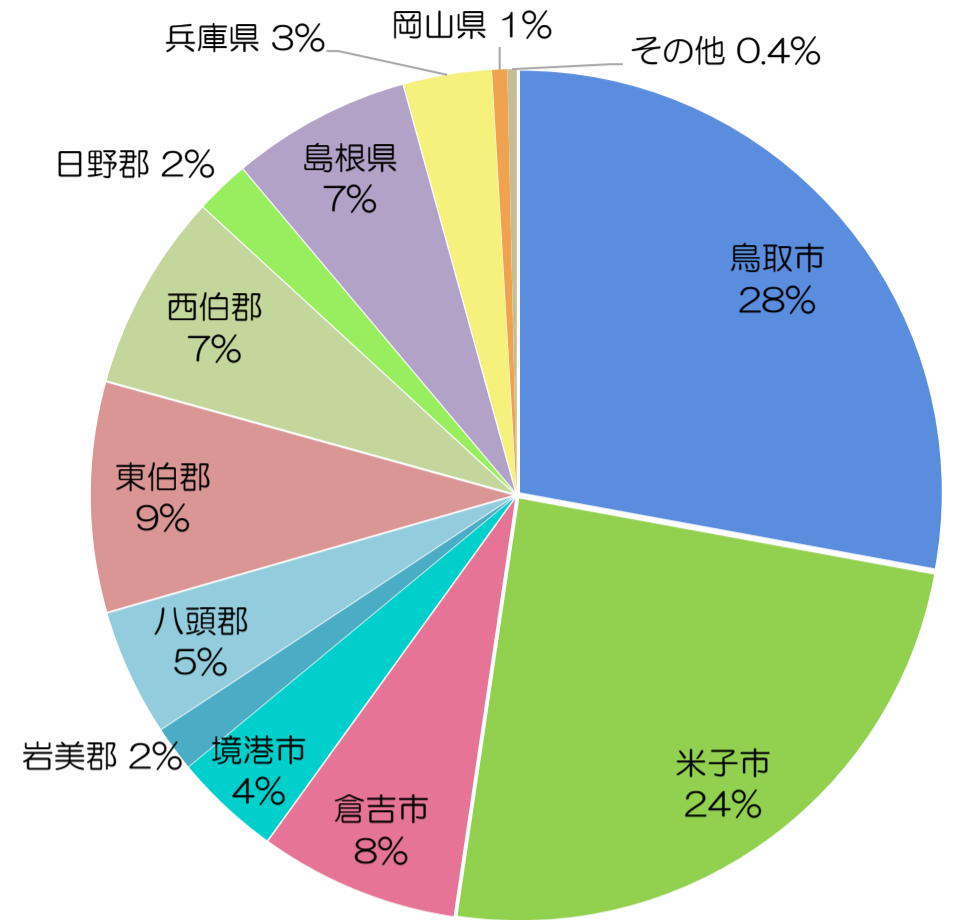
診断時住所別登録数 <2021年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く28%、次いで米子市の24%で、両市で半数の52%を占める。次いで東伯郡が9%、倉吉市の8%、西伯郡の7%、八頭郡の5%、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が3%、岡山県が1%を占める。

施設別には東部では、鳥取県立中央病院の1,119件、次いで鳥取赤十字病院の829件、鳥取生協病院の195件である。中部では、鳥取県立厚生病院の750件、野島病院の123件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の2,029件が最も多く、次いで米子医療センターの723件、山陰労災病院の460件、博愛病院の337件である。

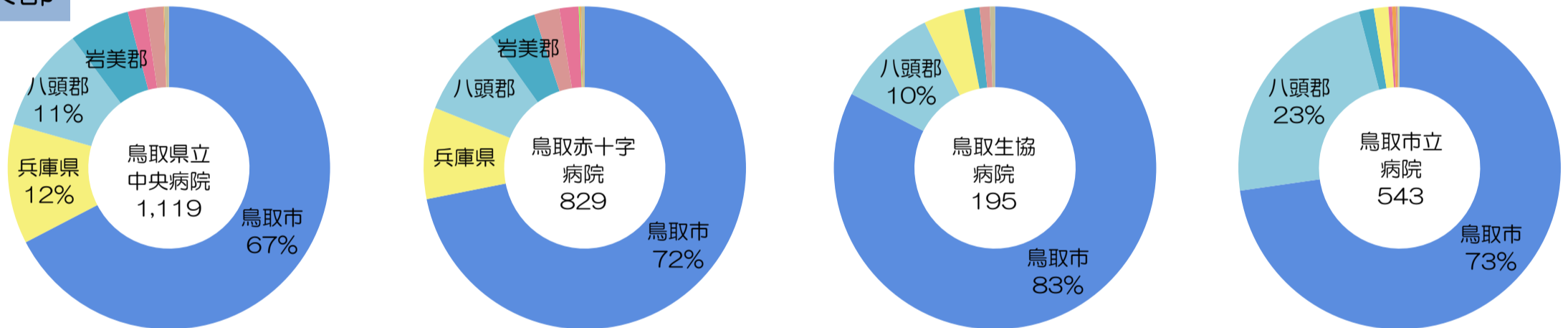
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であったが、島根県の20%をはじめとし、東伯郡、倉吉市、鳥取市など西部地域外からの患者がほぼ35%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

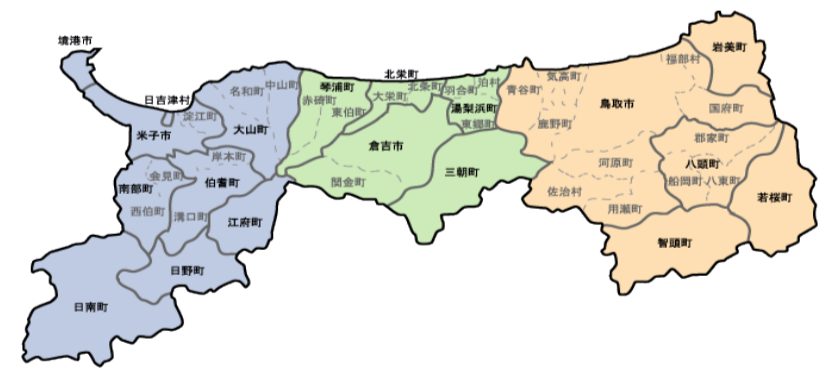
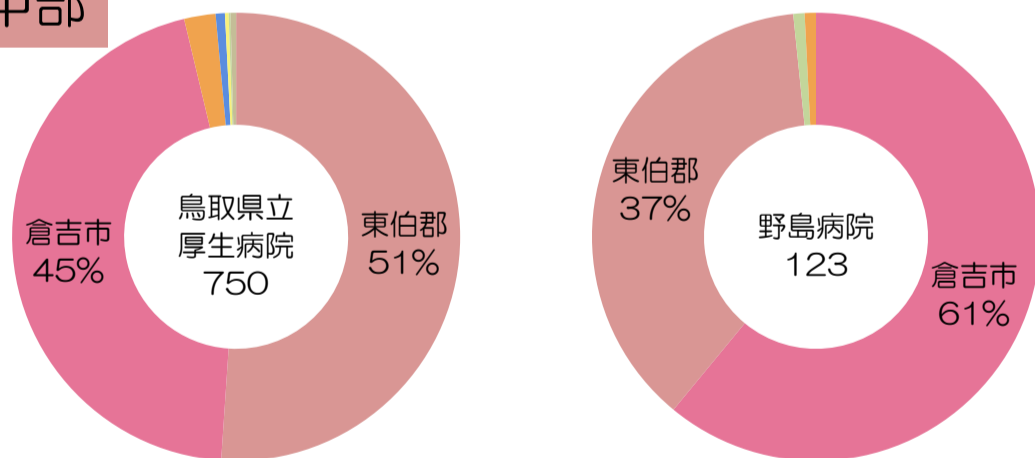


鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
1,982	1,738	541	288	122	343	623	535	145	486	239	41	25	7,108

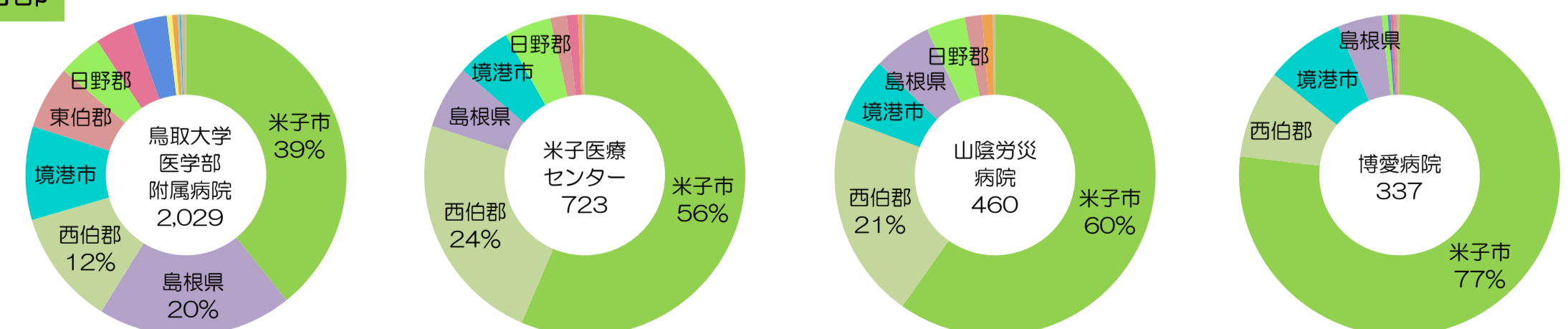
東部



中部



西部

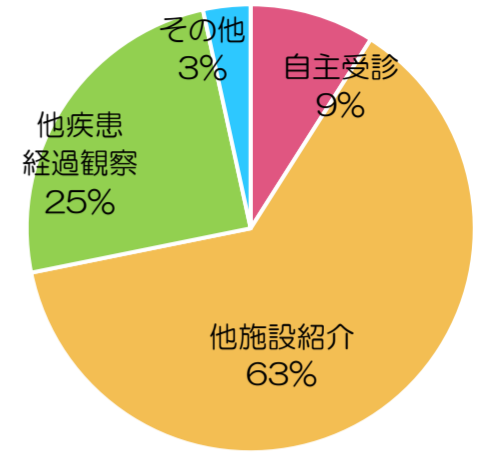


■ 鳥取市 ■ 米子市 ■ 倉吉市 ■ 境港市 ■ 岩美郡 ■ 八頭郡 ■ 東伯郡 ■ 西伯郡 ■ 日野郡 ■ 島根県 ■ 兵庫県 ■ 岡山県 ■ その他

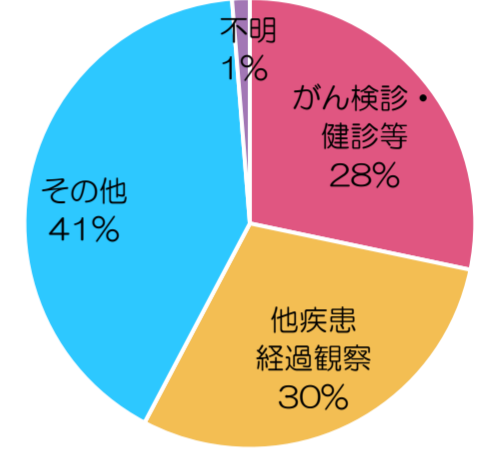
一胃 (2021)

胃がんは、男性550件、女性238件で総数は788件、男性が女性の2.3倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男性では65-74歳が、女性では85歳以上が最も多い。
 ステージ別には、全国、鳥取県ともⅠ期が最も多く、その割合は6割を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期、Ⅲ期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

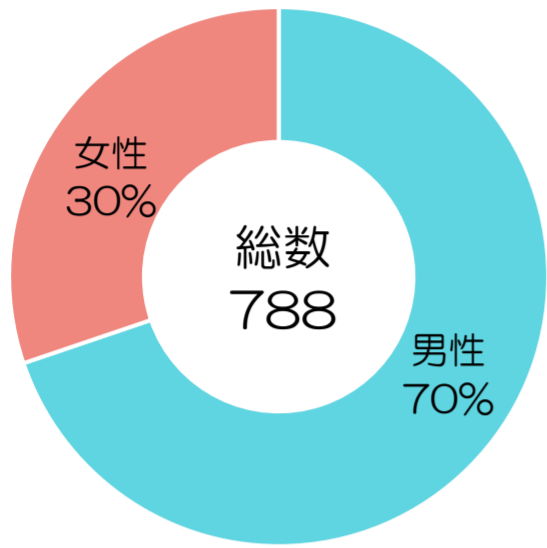
来院経路



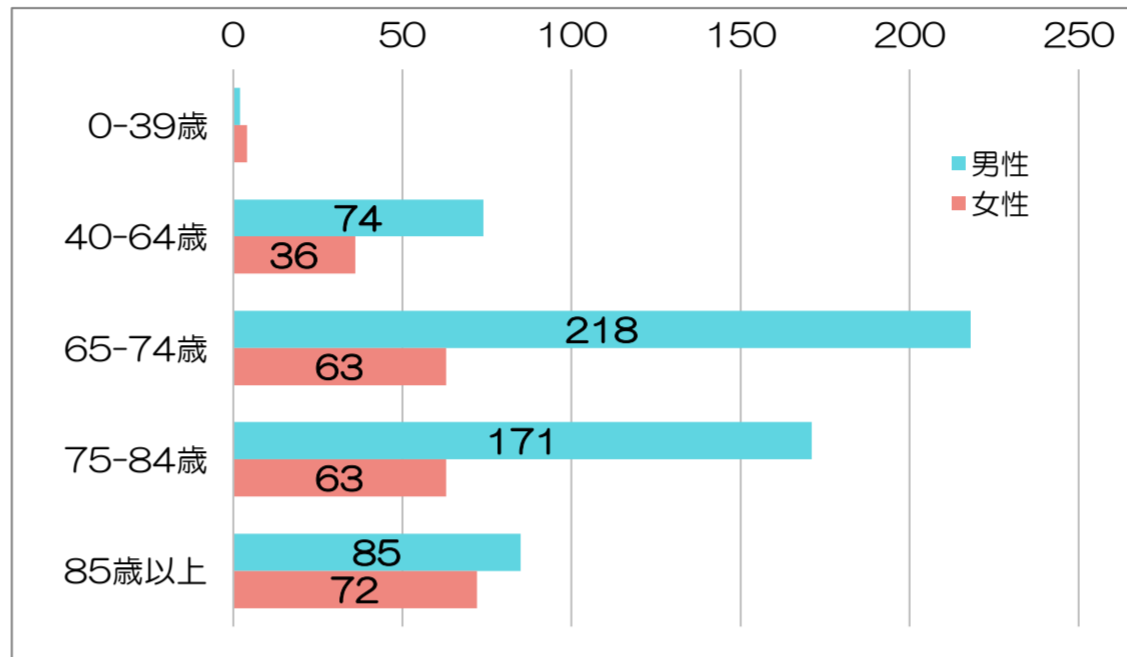
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

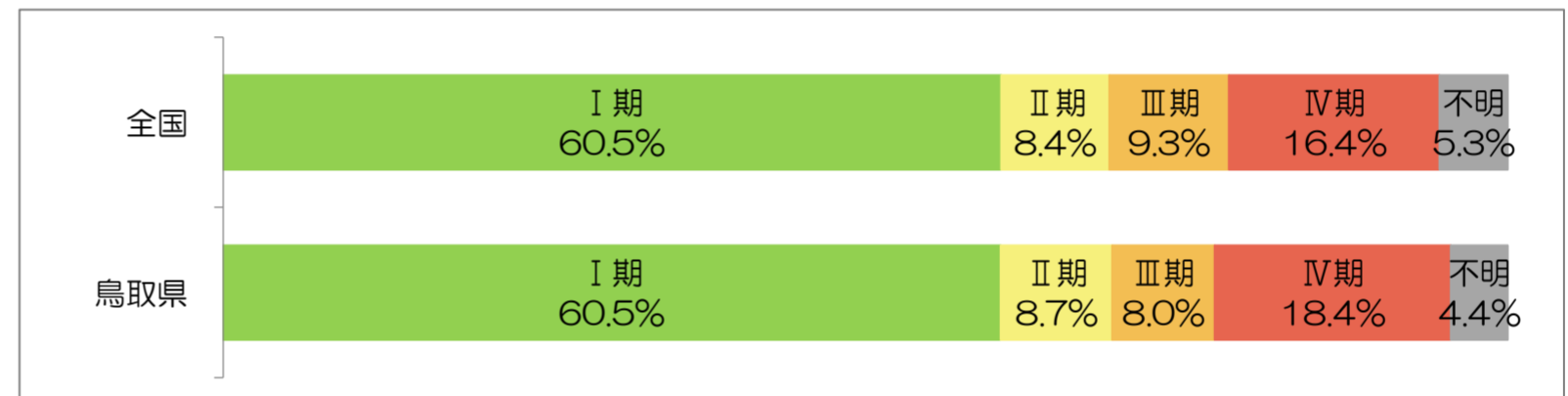


治療前ステージ別登録数

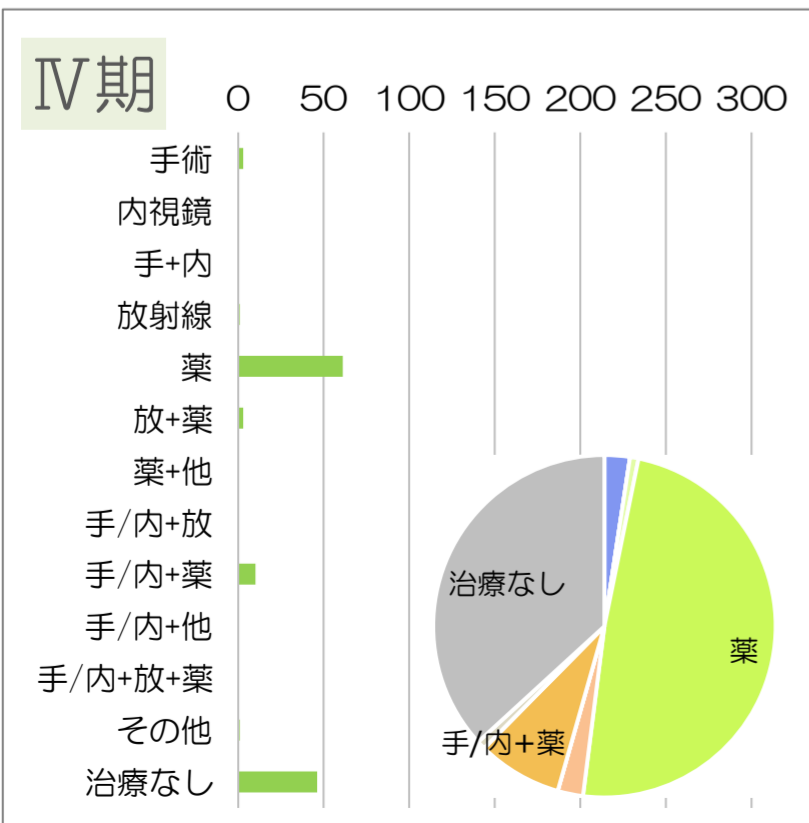
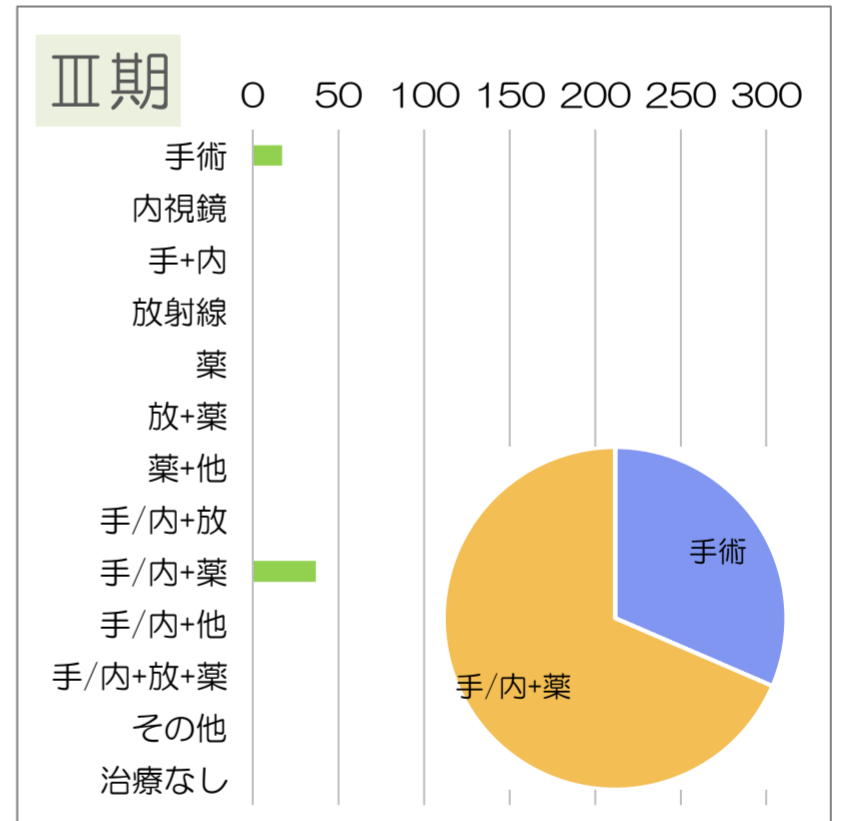
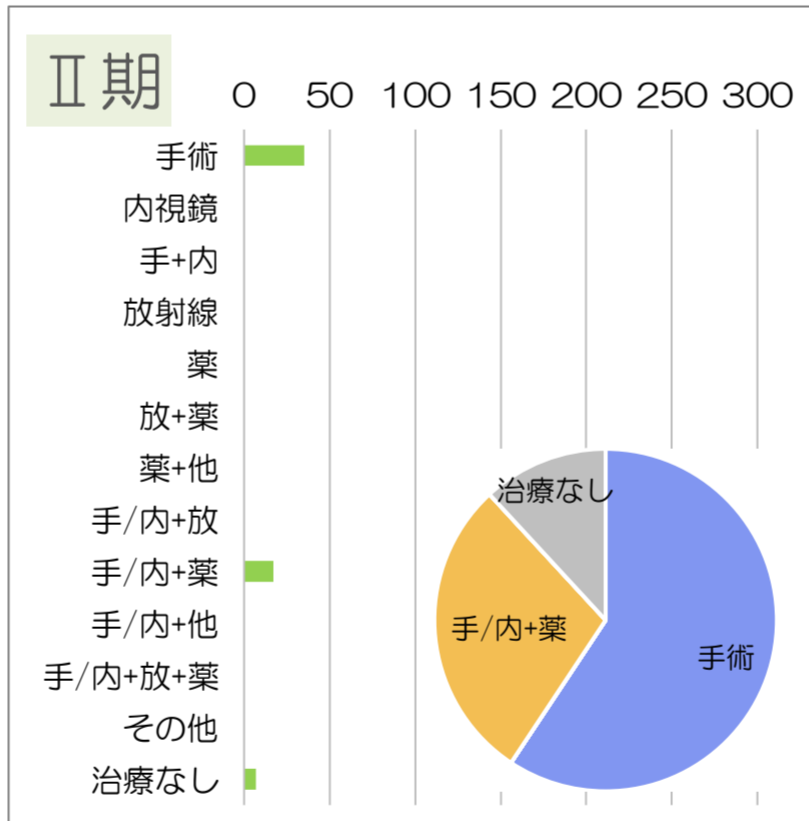
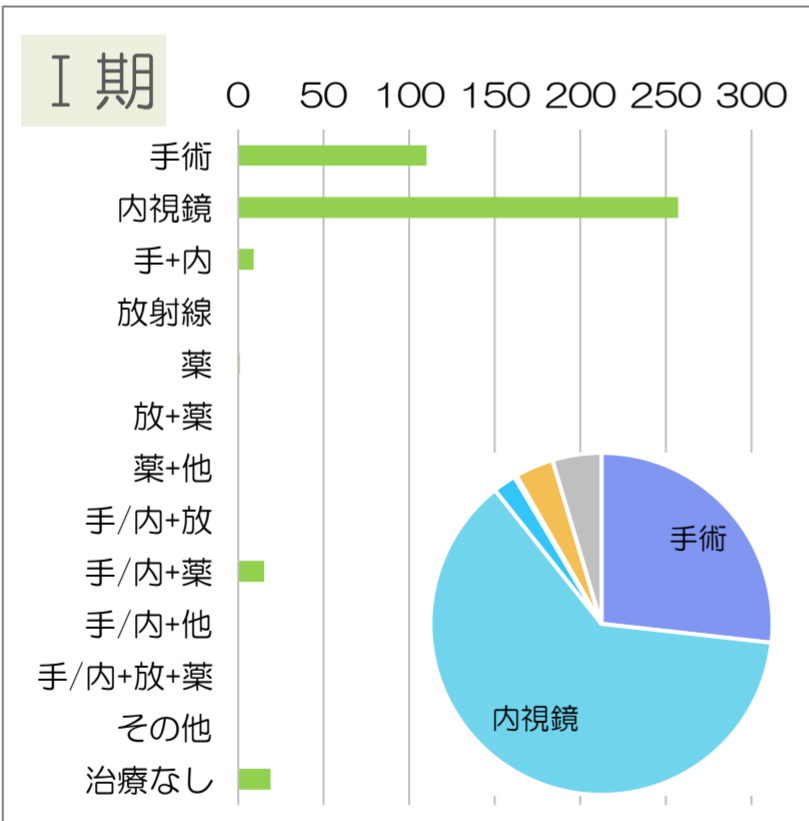
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
411	59	54	125	30	679

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



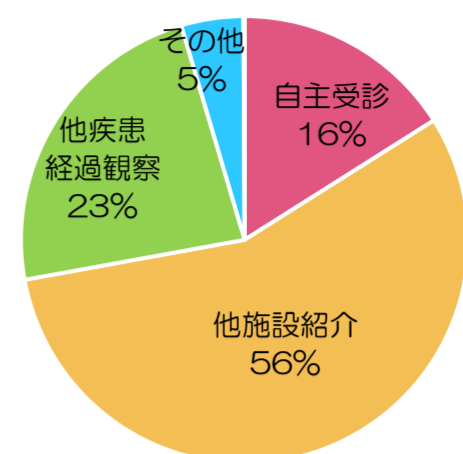
ステージ別治療方法



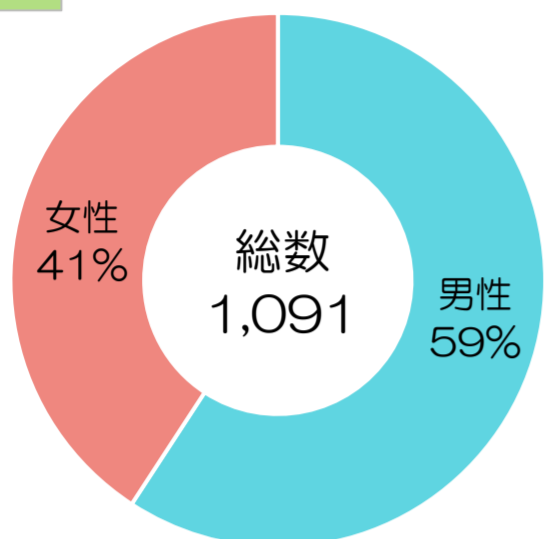
—大腸 (2021)—

大腸がんは、男性646件、女性445件で総数は1,091件、男性が女性の1.4倍を示す。年齢階級別には、男女とも65-74歳が最も多く、65歳以上では8割弱を占める。ステージ別には、全国、鳥取県ともにⅢ期が最も多い。〇期は全国が13.1%、鳥取県が7.4%と最も少ない。ステージ別の治療方法は、〇期では「内視鏡」、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」が大半を占める。Ⅳ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「薬物療法」、「手術」、「治療なし」など多様となっている。

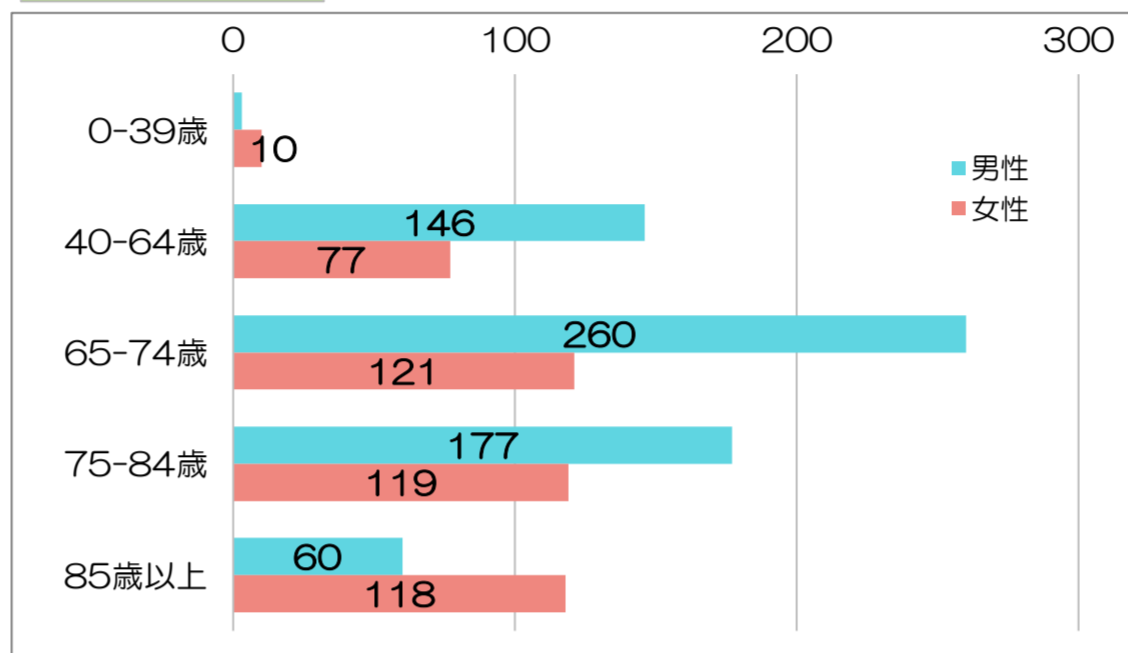
来院経路



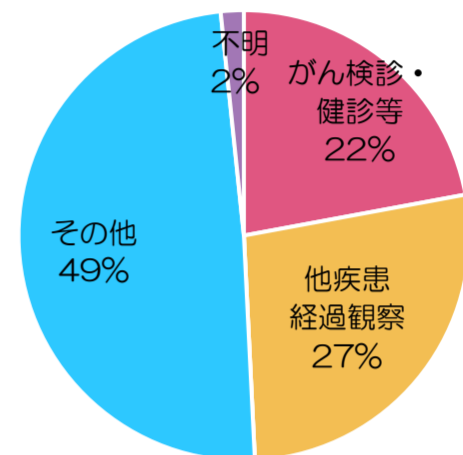
男女比



年齢別登録件数



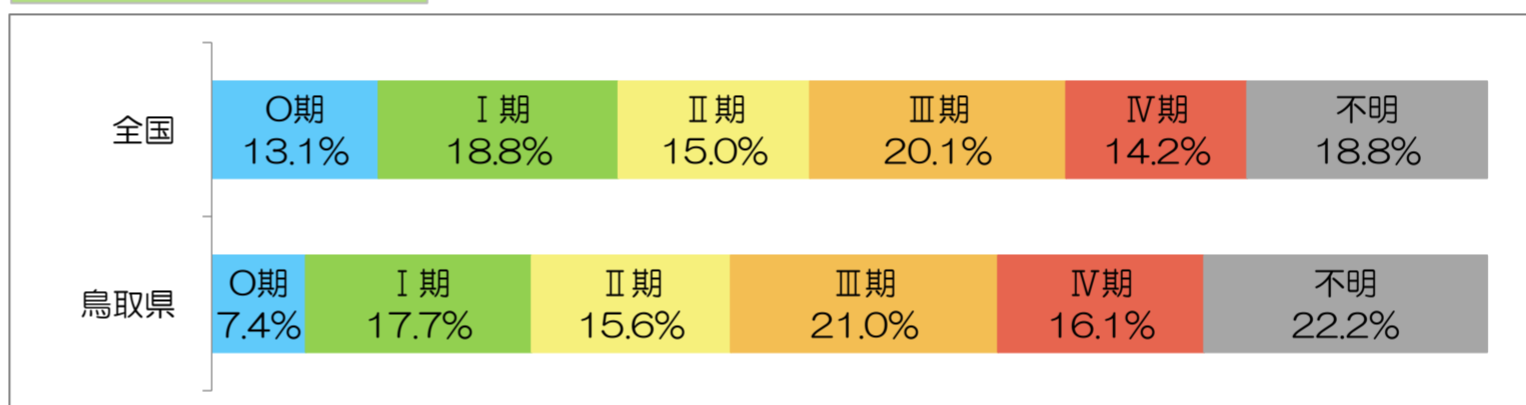
発見経緯



治療前ステージ別登録数

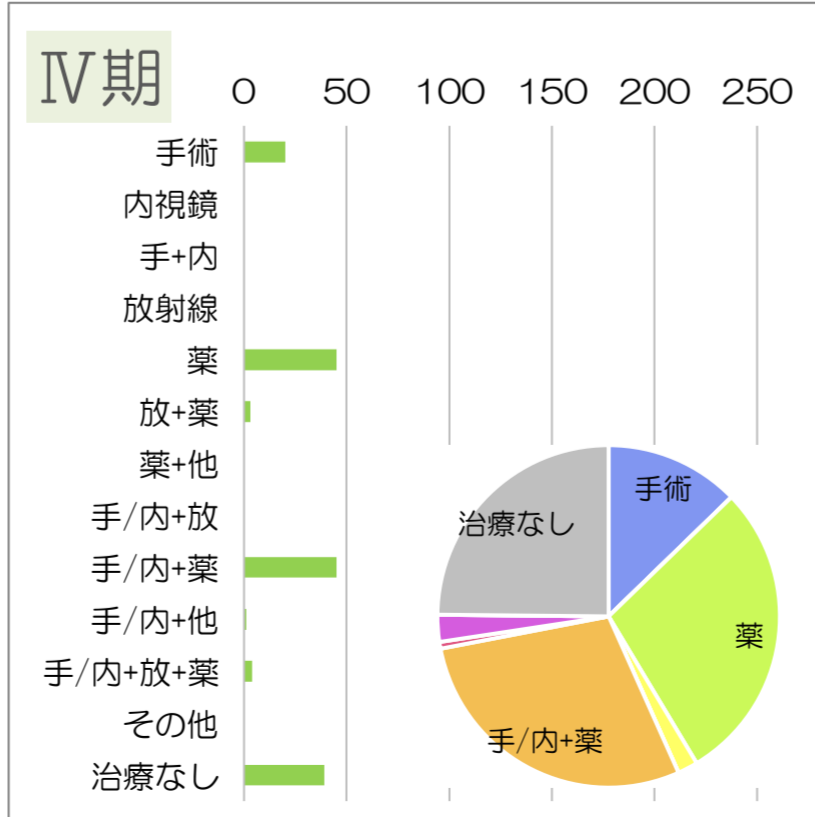
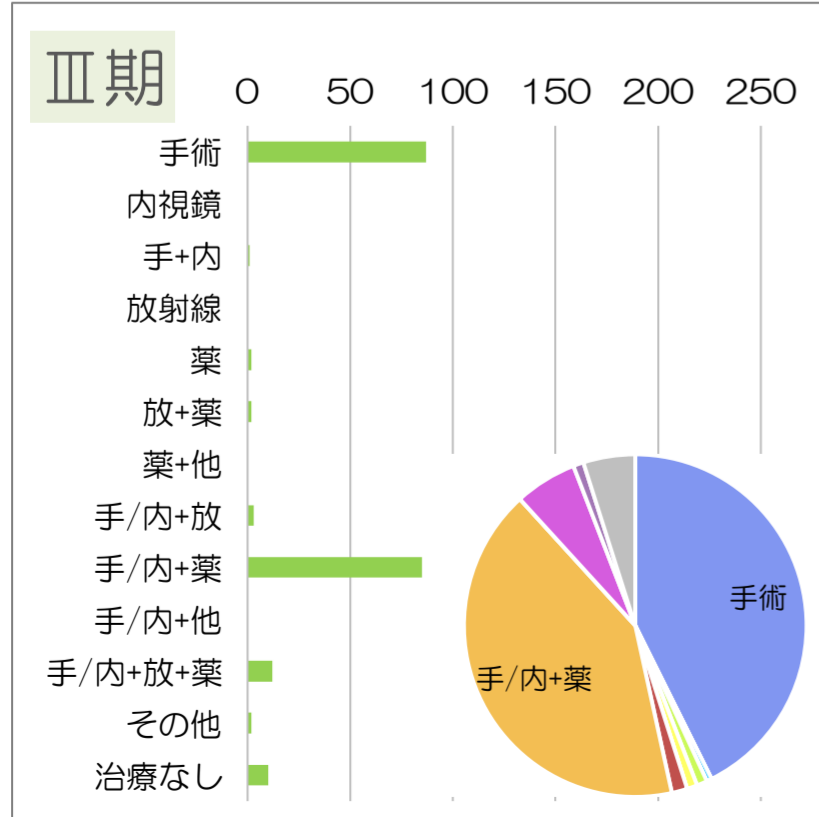
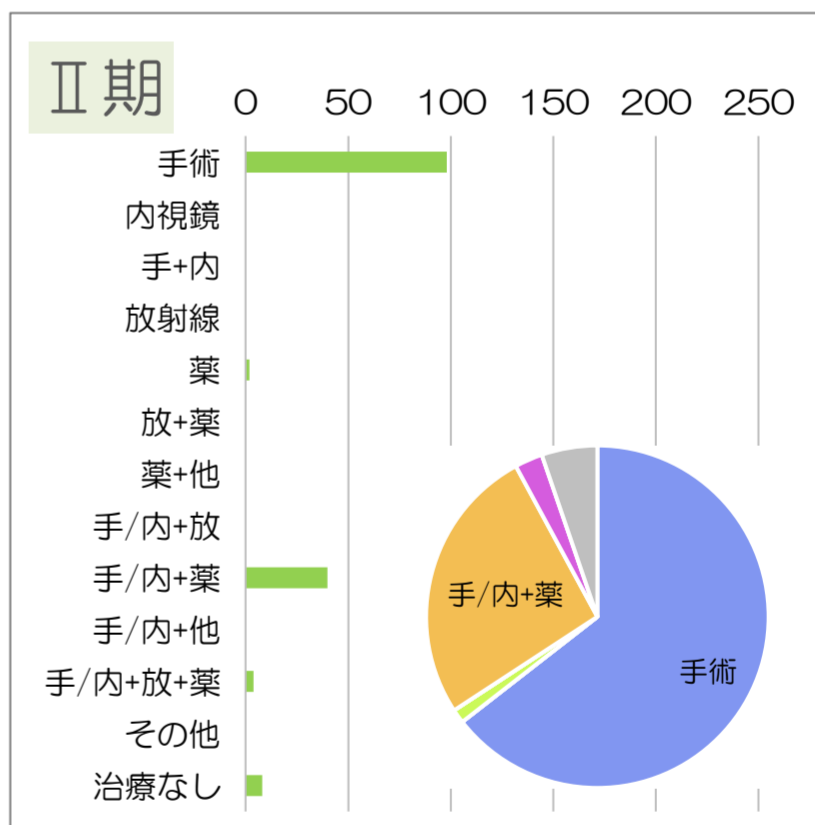
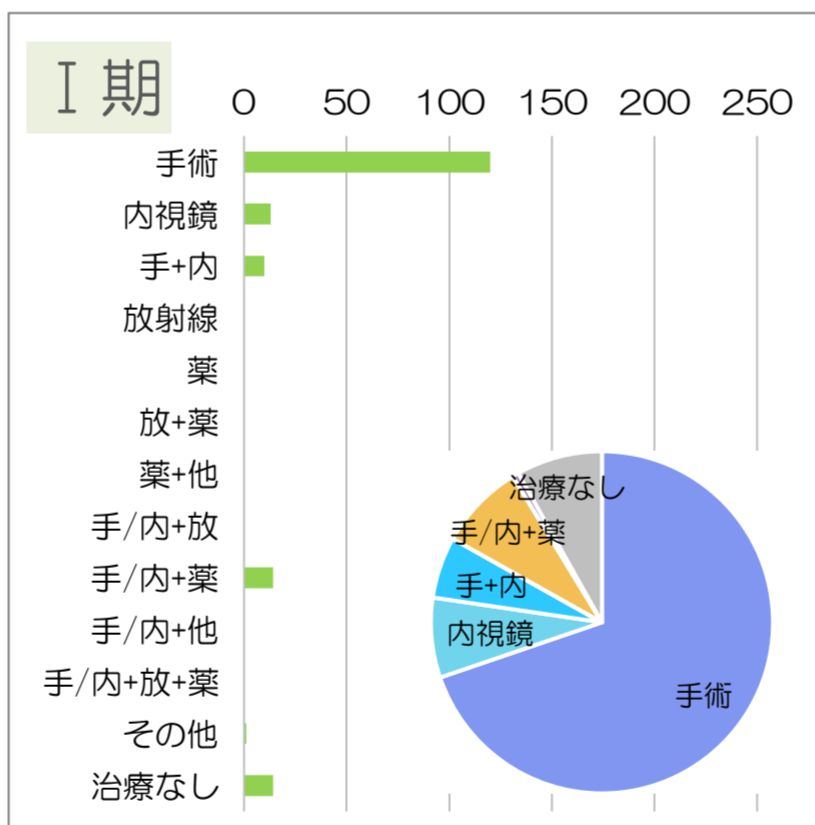
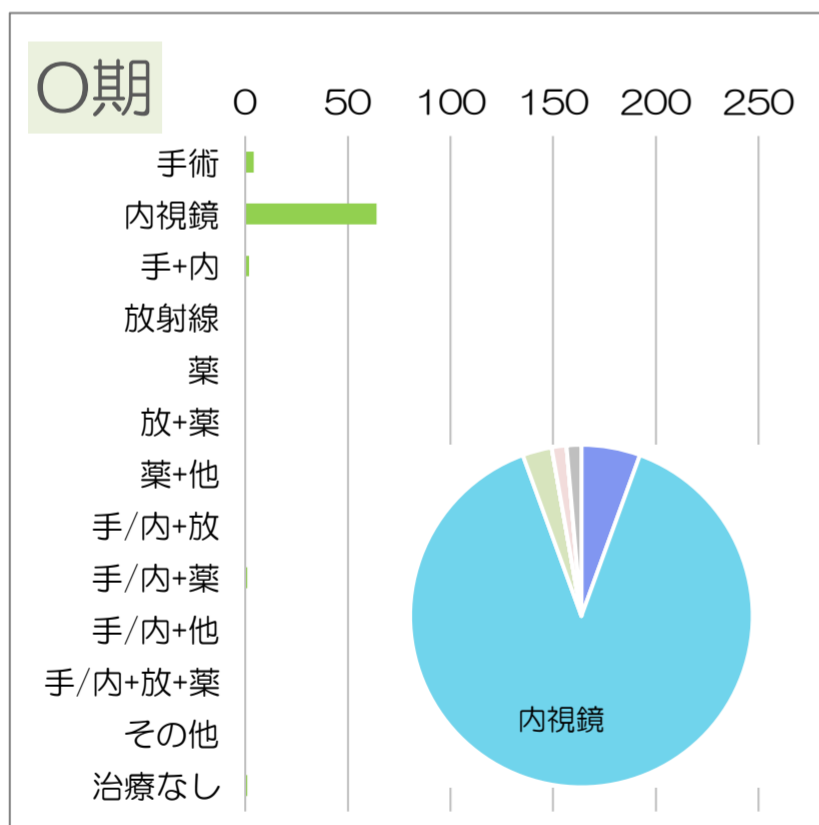
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
72	172	152	204	157	216	973

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

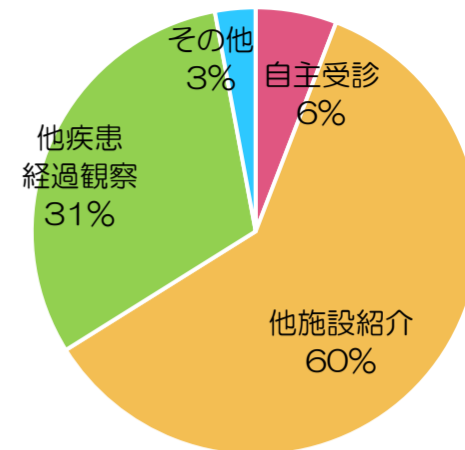
ステージ別治療方法



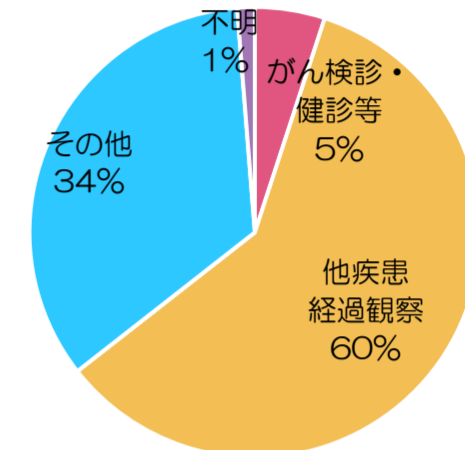
一肝臓 (2021)

肝臓がんは、男性171件、女性68件で総数は239件、男性が女性の2.5倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男性では82%、女性は93%を占め、男性は65-74歳が最も多く、
 女性は75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、次いでⅡ期、Ⅲ期、Ⅳ期の順。Ⅰ期とⅢ期で鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期、Ⅱ期では「手術」、「薬物療法+その他」、「その他」、Ⅲ期では
 「薬物療法」、「治療なし」、「手術」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるよ
 うになる。

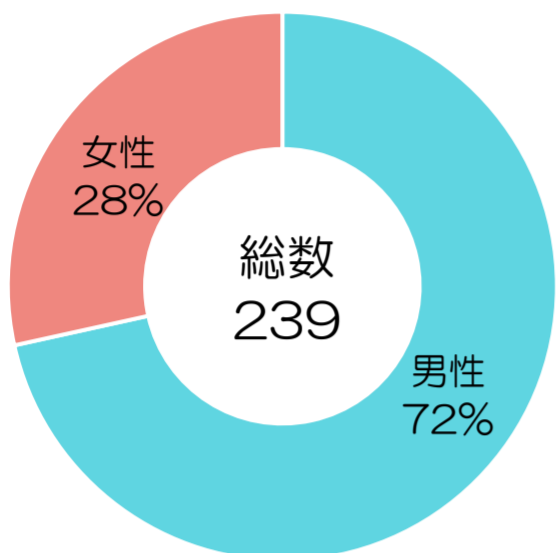
来院経路



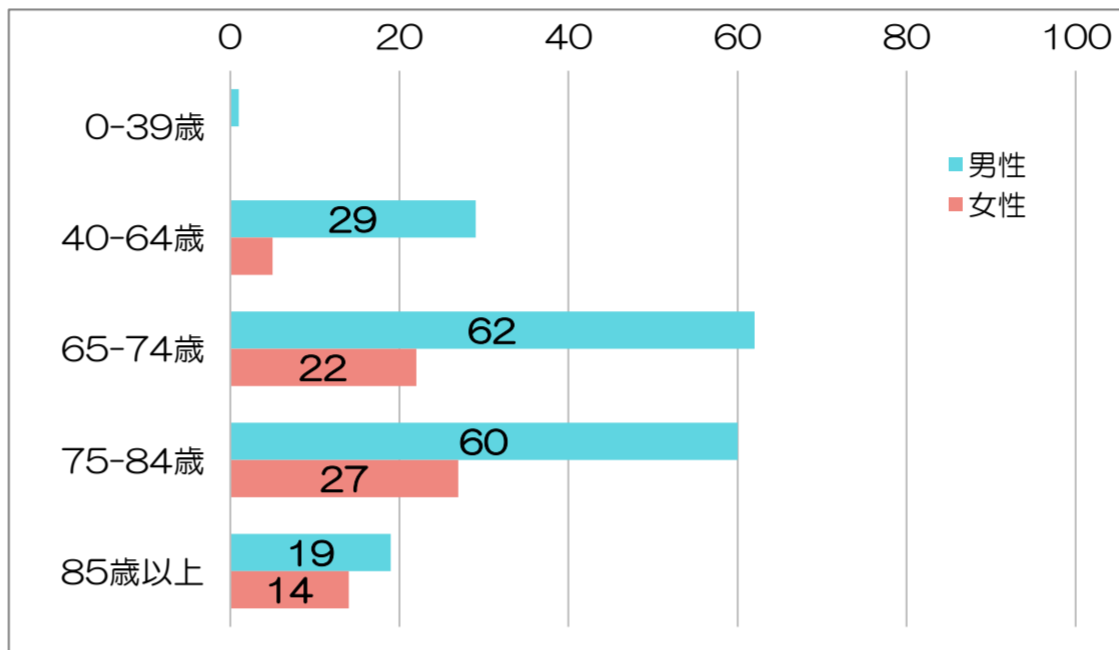
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

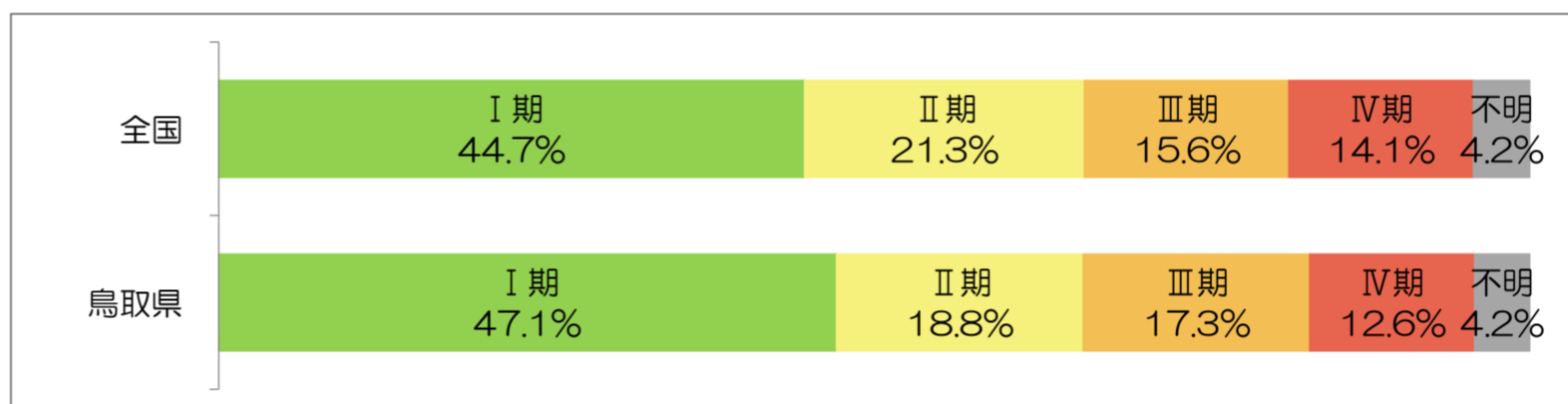


治療前ステージ別登録数

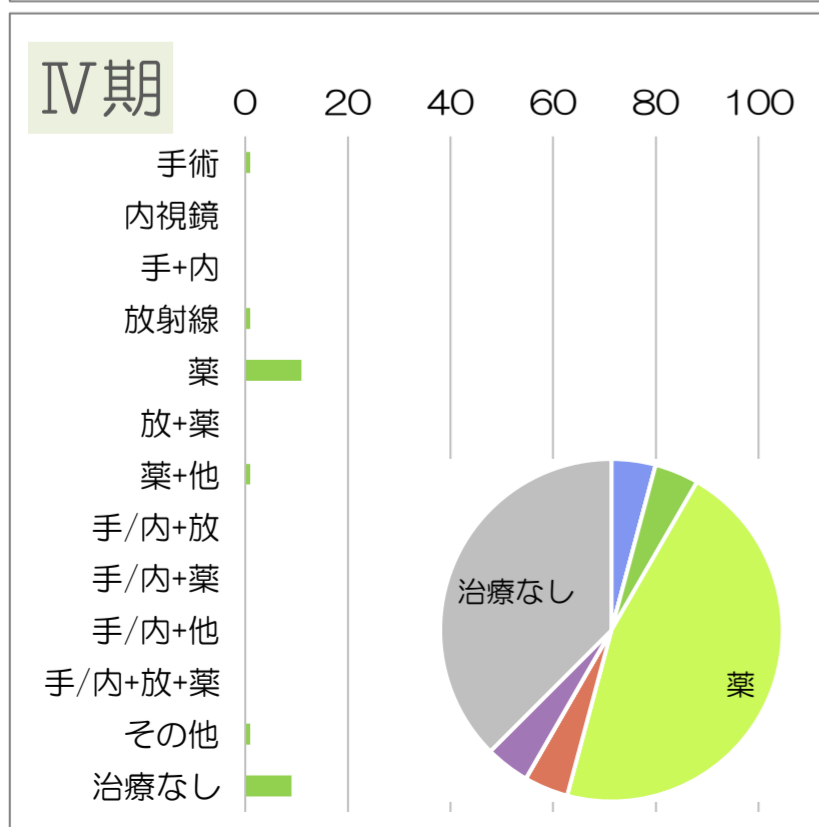
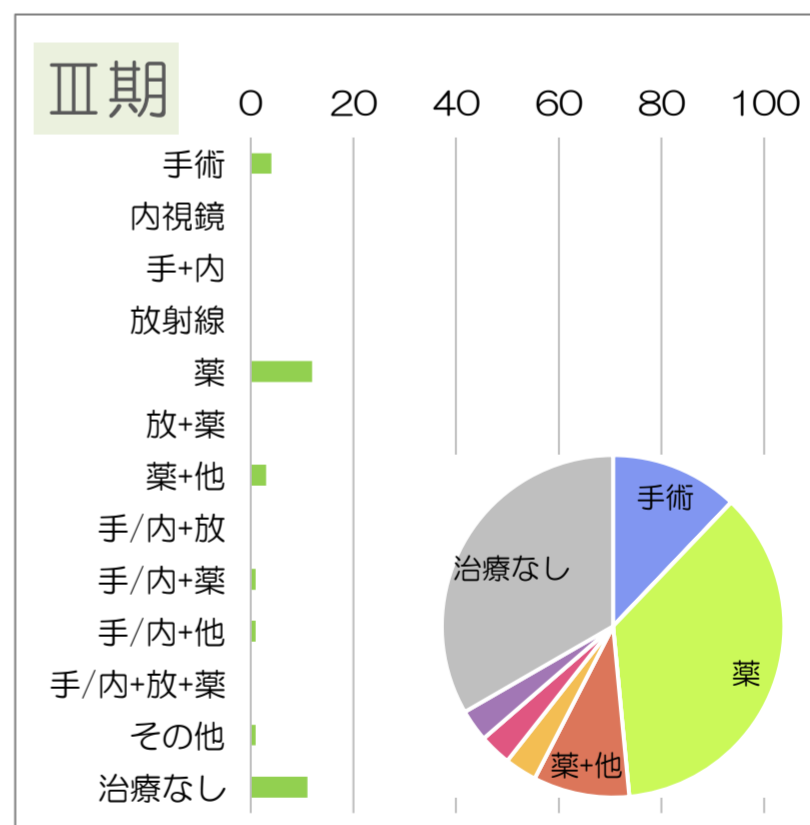
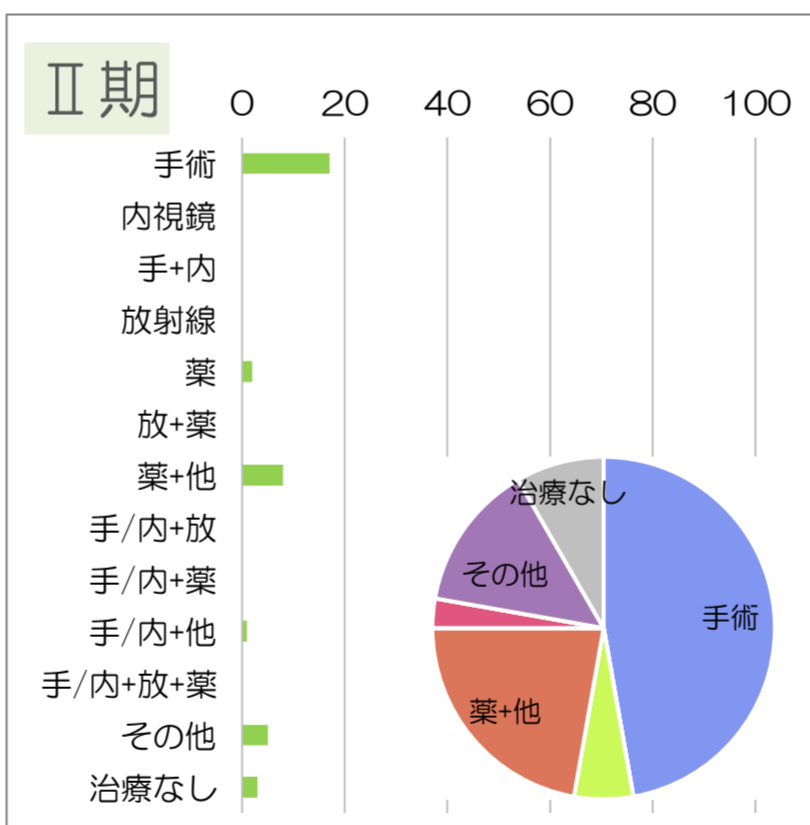
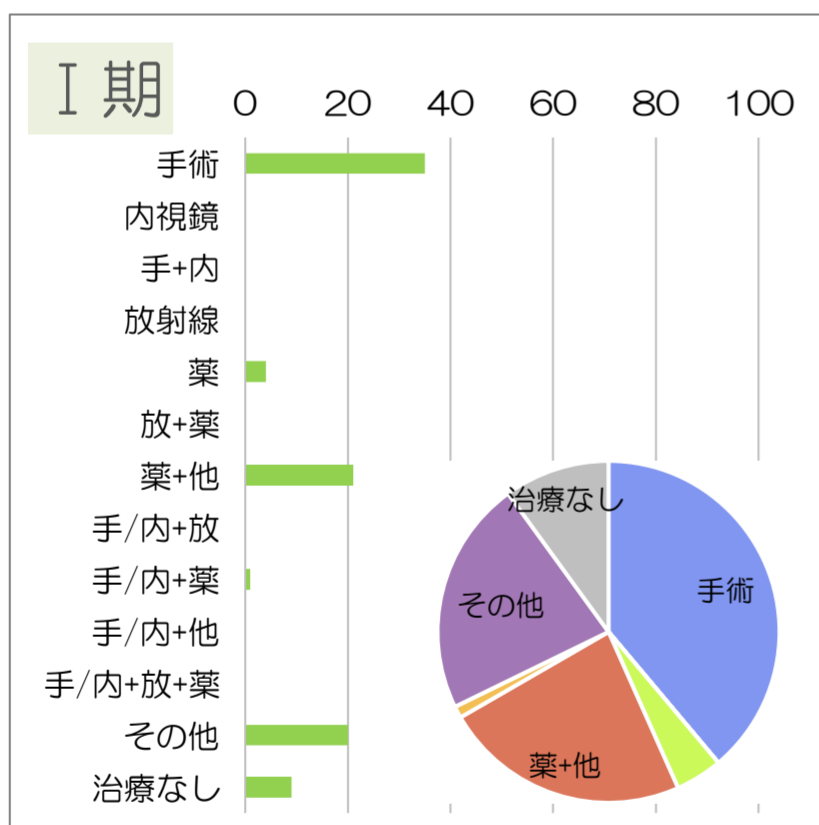
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
90	36	33	24	(7-9)	191

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



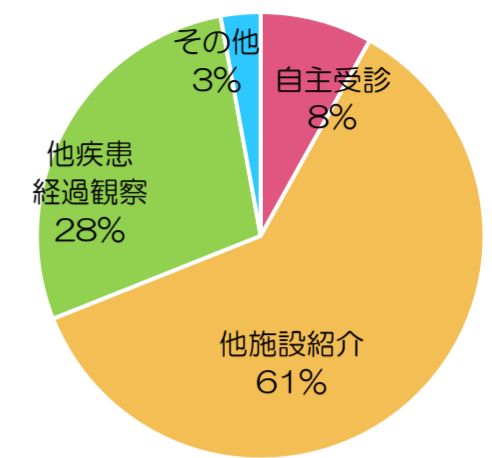
ステージ別治療方法



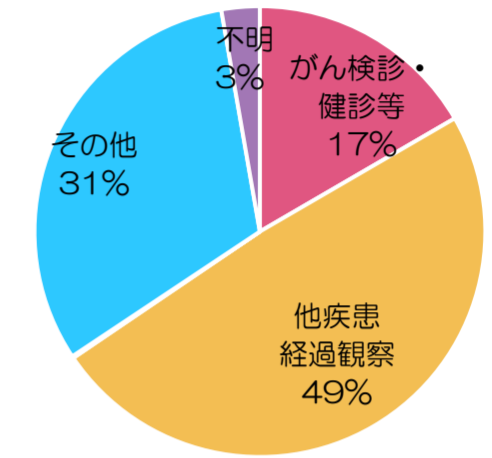
—肺 (2021)—

肺がんは、男性485件、女性243件で総数は728件、男性が女性の2倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも86%を占め、65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、鳥取県ではⅠ期が41%、Ⅳ期が30%の順で多く、〇期～Ⅳ期ともすべて全国とほぼ同じ割合を示す。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「治療なし」、Ⅲ期では「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、「治療なし」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

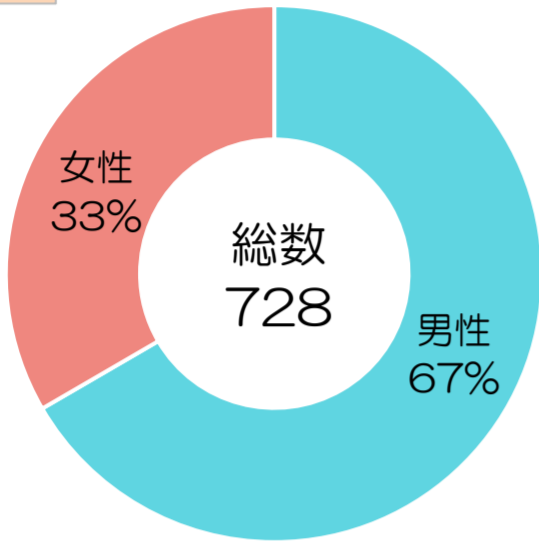
来院経路



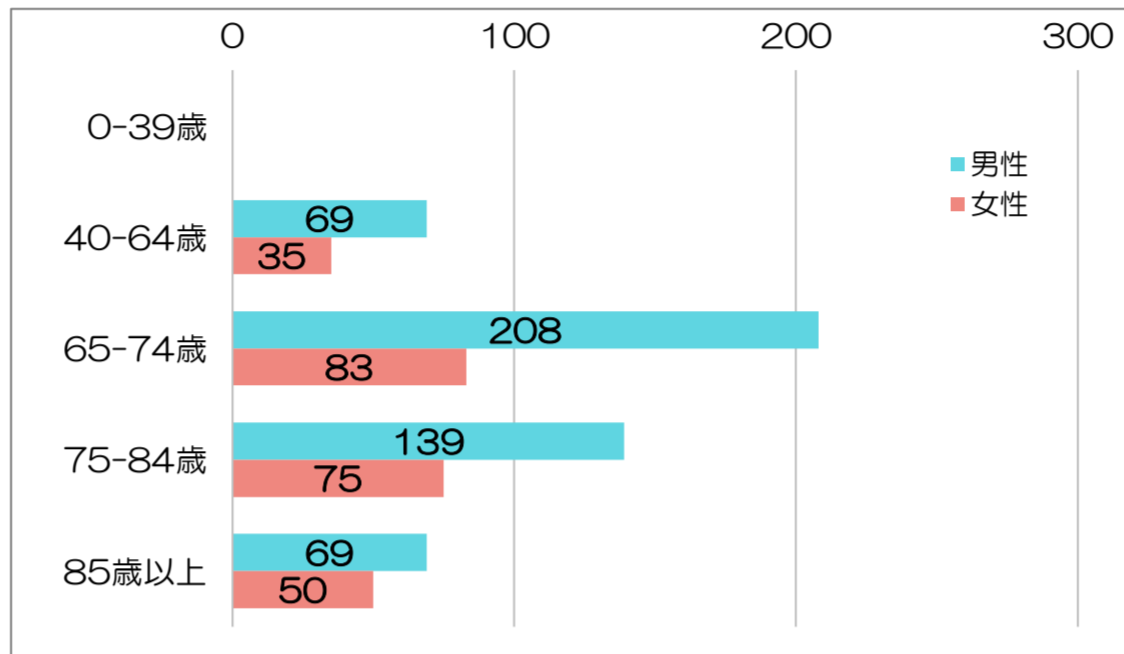
発見経緯



男女比



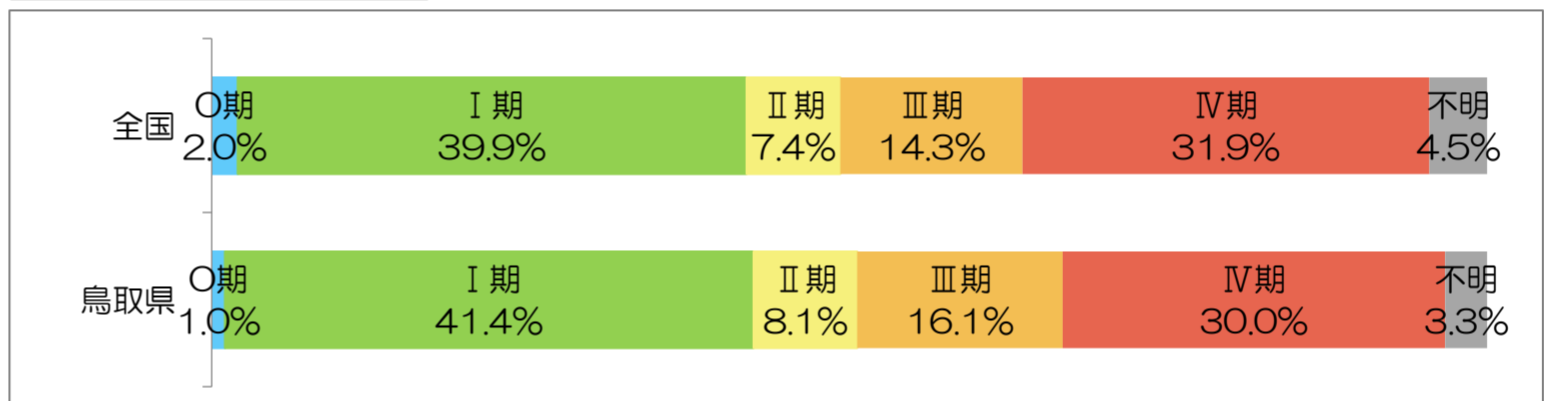
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

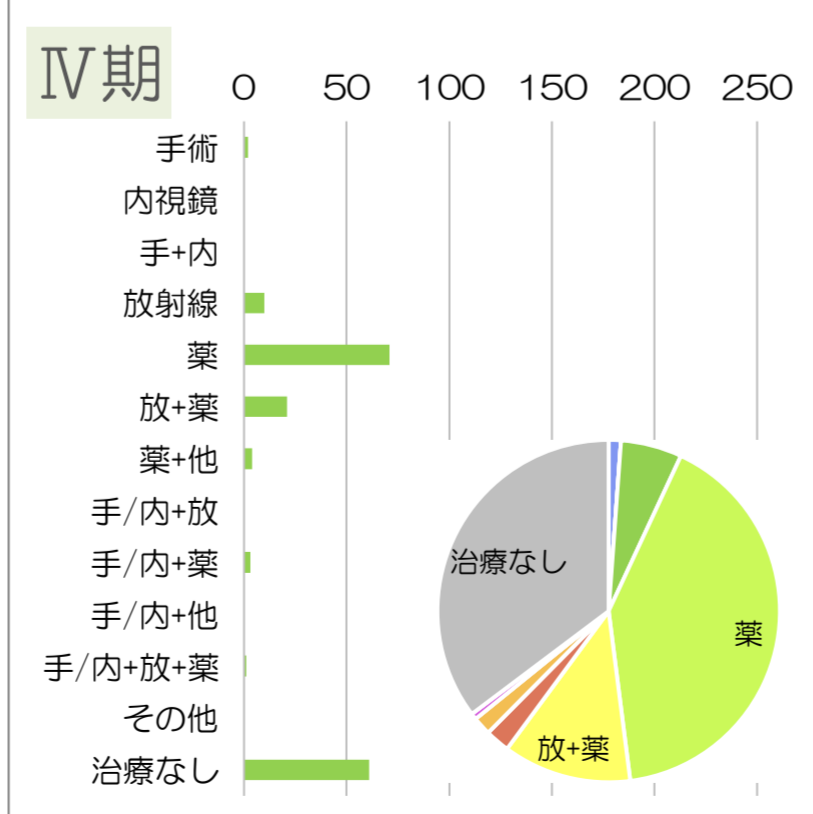
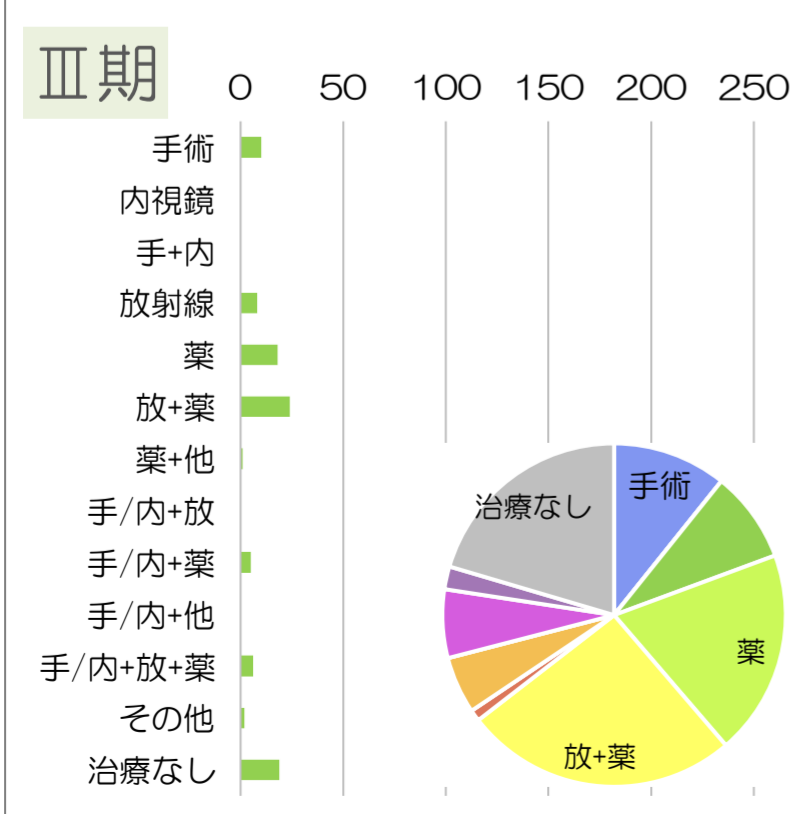
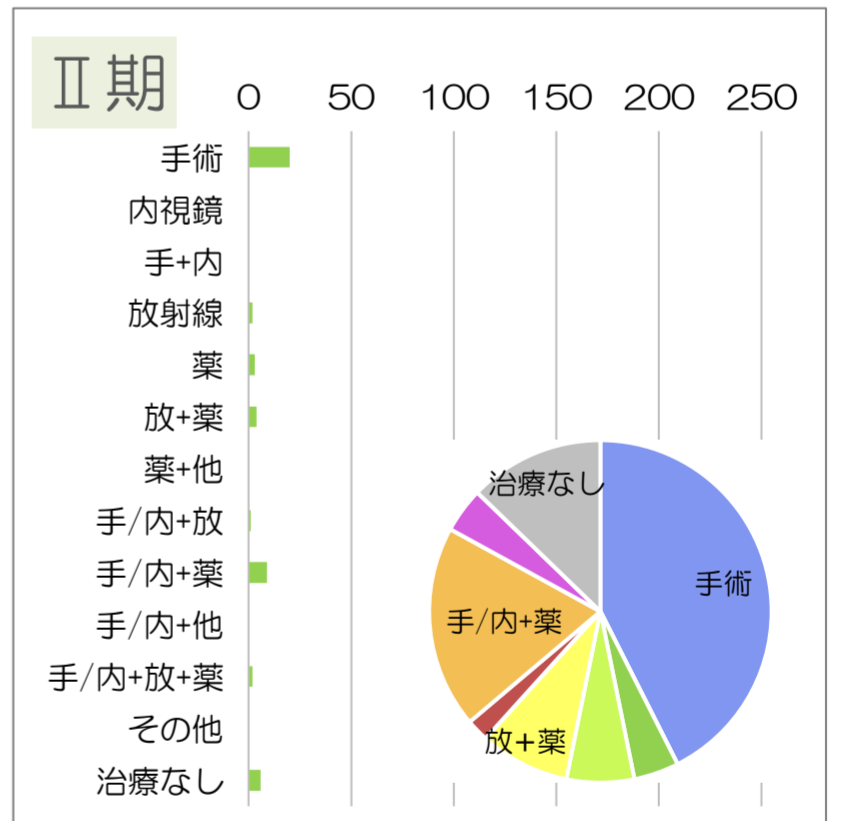
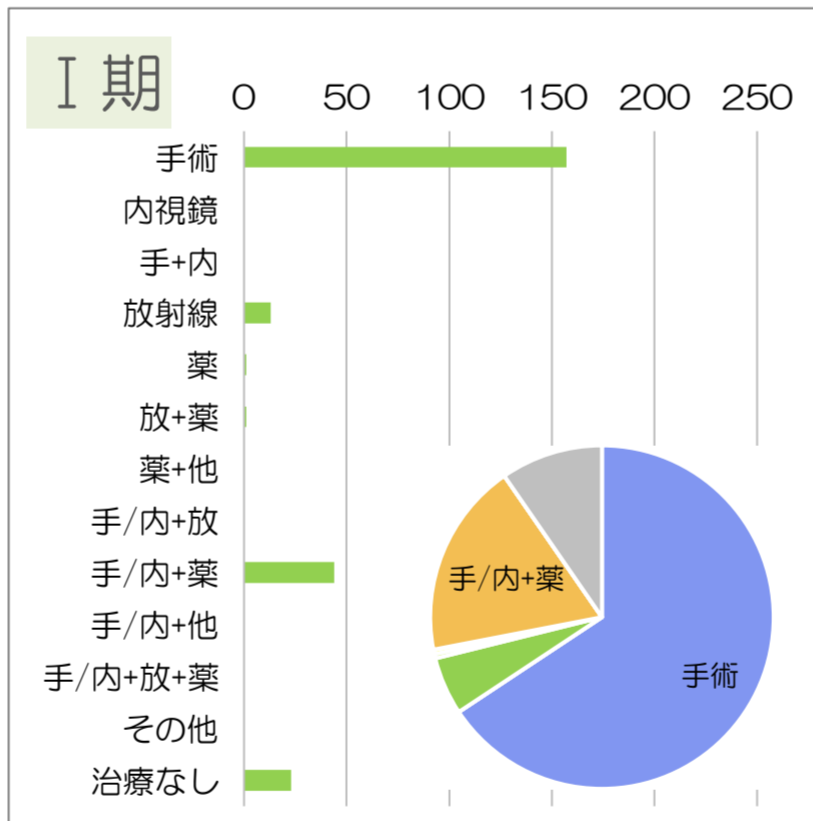
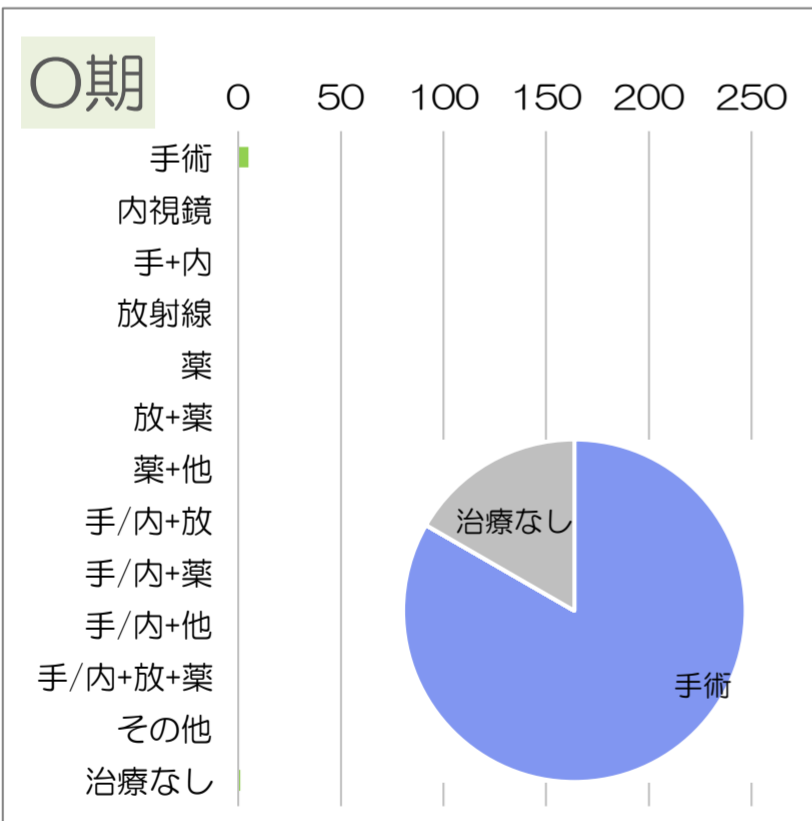
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
(4-6)	239	47	93	173	19	577

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

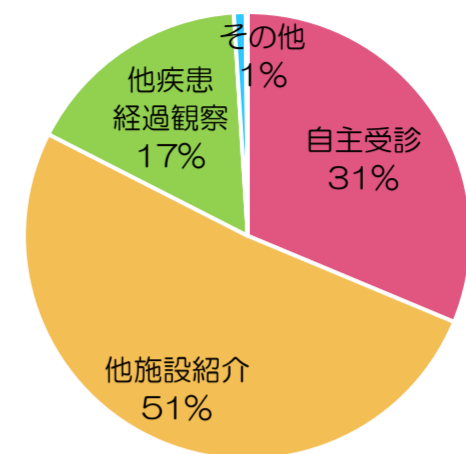
ステージ別治療方法



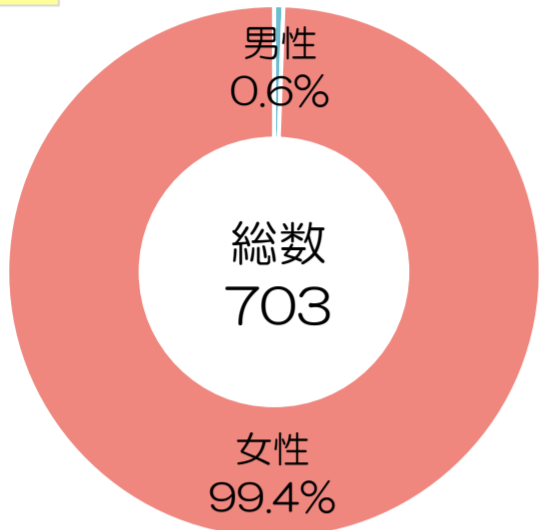
一乳房 (2021)

乳がんは、総数は703件、男性はわずかに0.6%で、女性がほとんどを占める。年齢階級別には、40-64歳が43%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。ステージ別には、鳥取県ではⅠ期が39%、Ⅱ期が29%の順に多く、Ⅰ期～Ⅳ期ともすべて全国とほぼ同じ割合を示す。ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術/内視鏡+薬物療法」と「手術」、Ⅱ期、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」と「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」が大半を占める。Ⅳ期では「薬物療法」が最も多く77.4%、それに加えて「手術/内視鏡+薬物療法」との組合せで大半を占めるようになる。

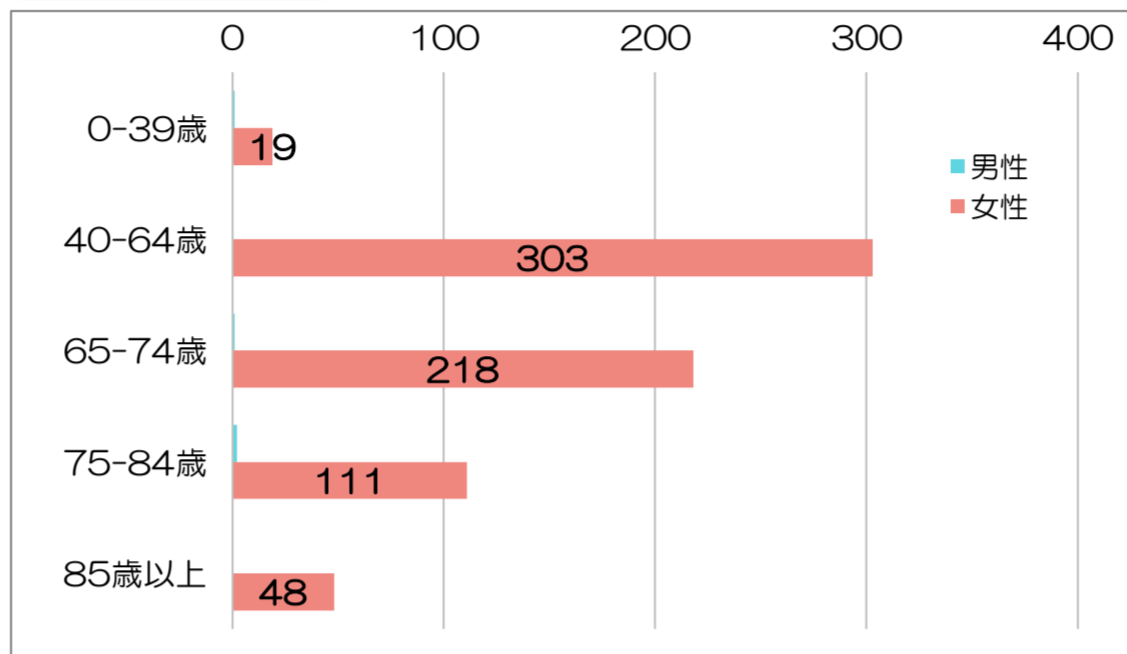
来院経路



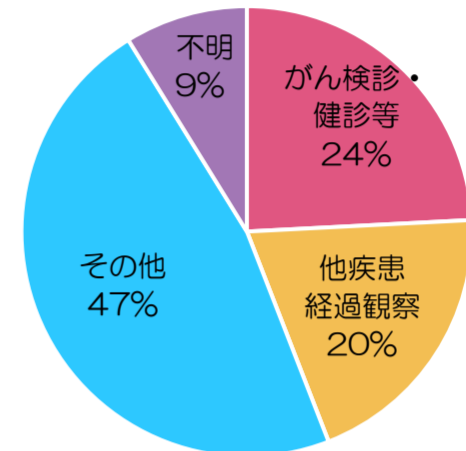
男女比



年齢別登録件数



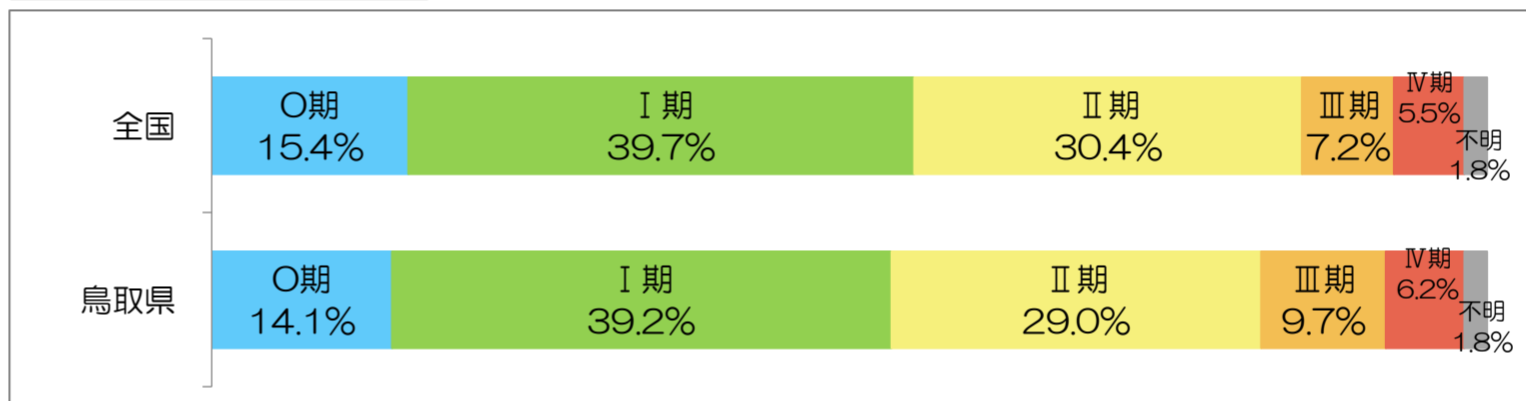
発見経緯



治療前ステージ別登録数

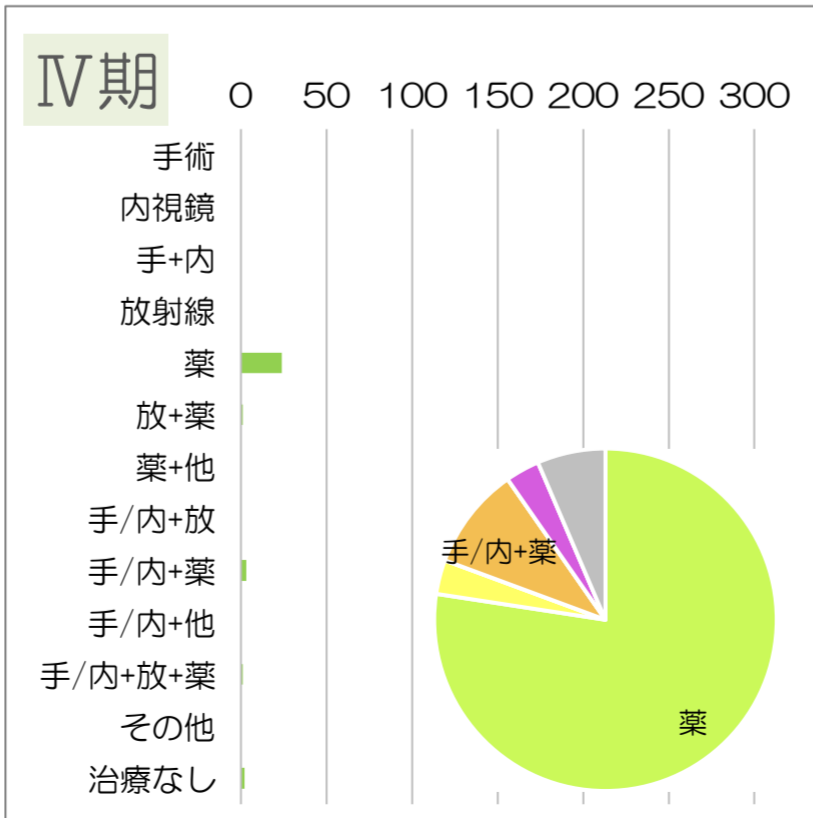
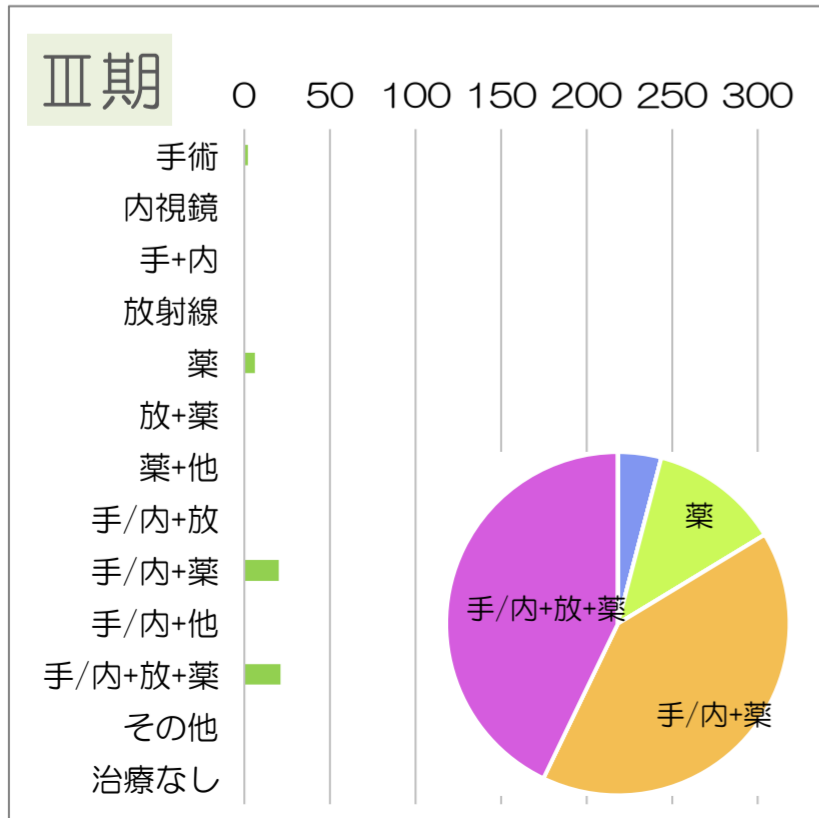
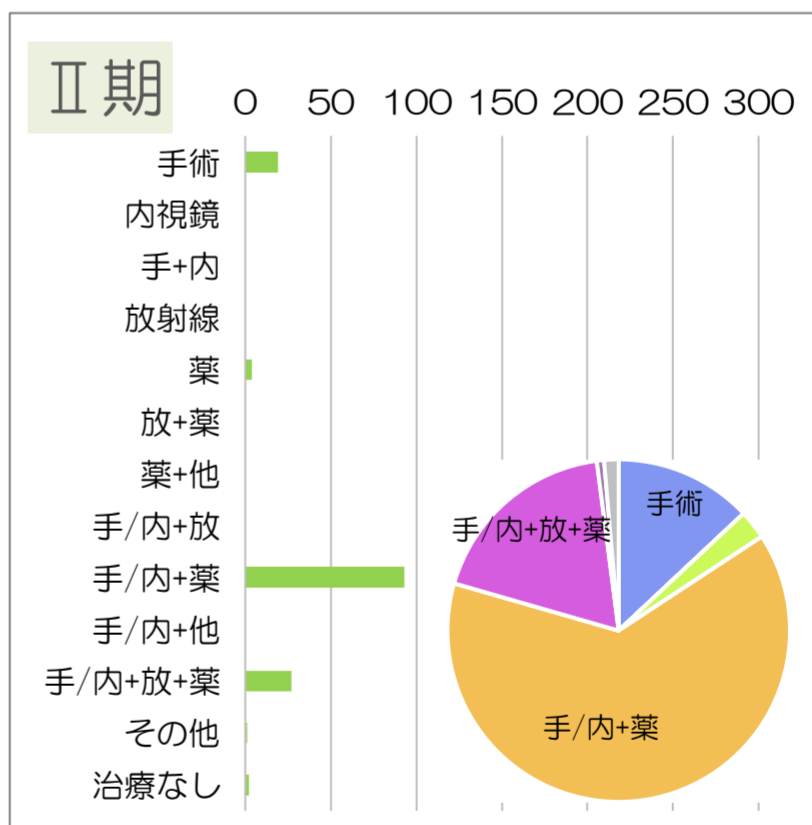
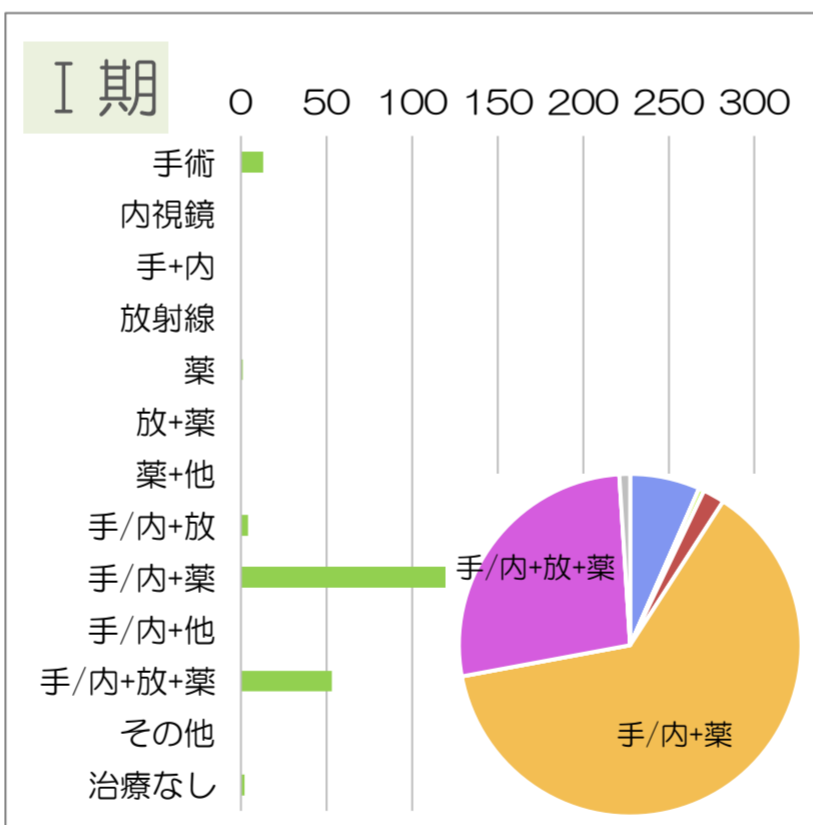
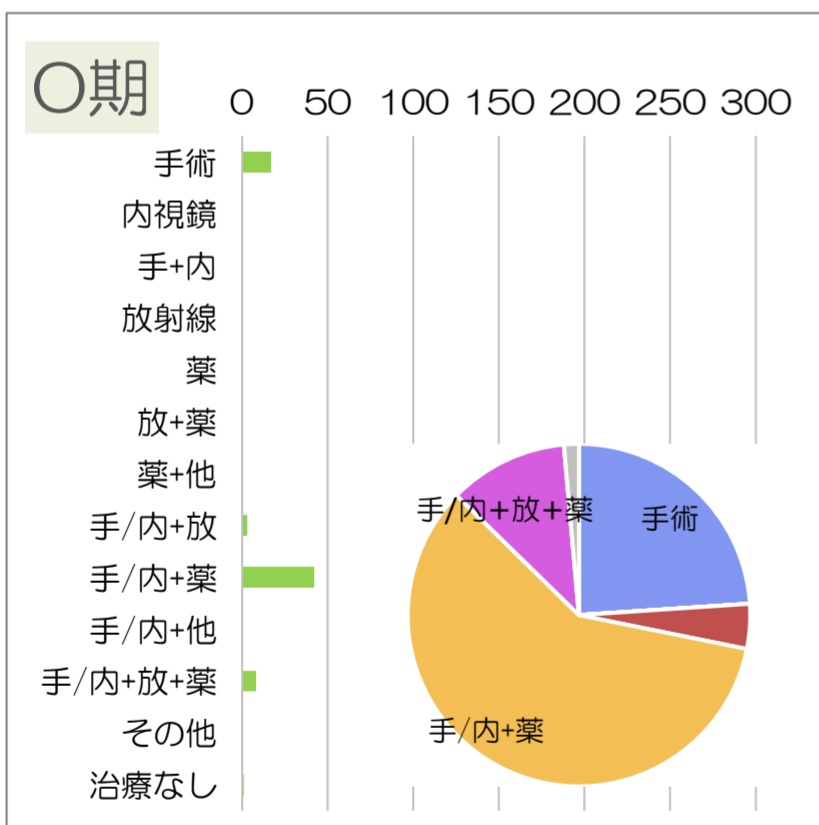
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
71	197	146	49	31	503

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ

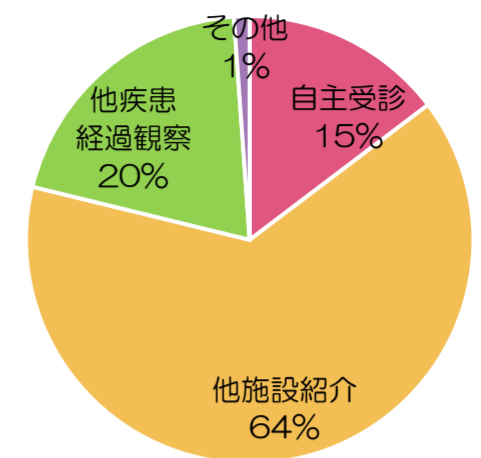
ステージ別治療方法



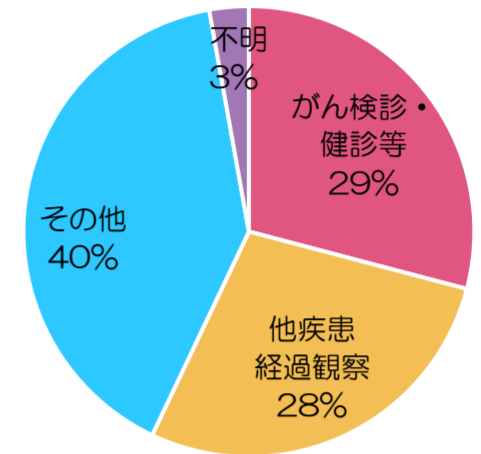
子宮 (2021)

子宮がんは、総数354件、年齢階級別には、40-64歳が186件の52.5%で最も多く、ほぼ半数以上を占めており、次いで40歳未満が84件の23.7%を示す。
 ステージ別には、子宮頸部では鳥取県が61%、全国が66%と〇期がともに最も多く、子宮体部は鳥取県、全国ともにⅠ期が最も多く70%以上を占める。
 ステージ別の治療方法は、〇期では「手術」がほとんどで、Ⅰ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、Ⅱ期では「放射線+薬物療法」と「手術/内視鏡+薬物療法」の組み合わせで大半を占める。Ⅲ期では「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線」、さらに、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が加わり多様となっている。

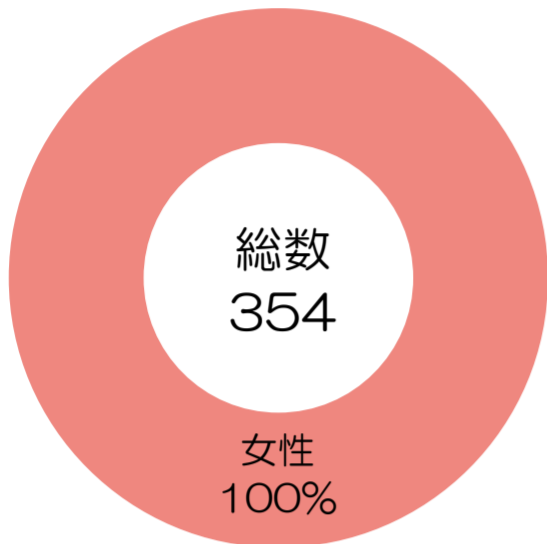
来院経路



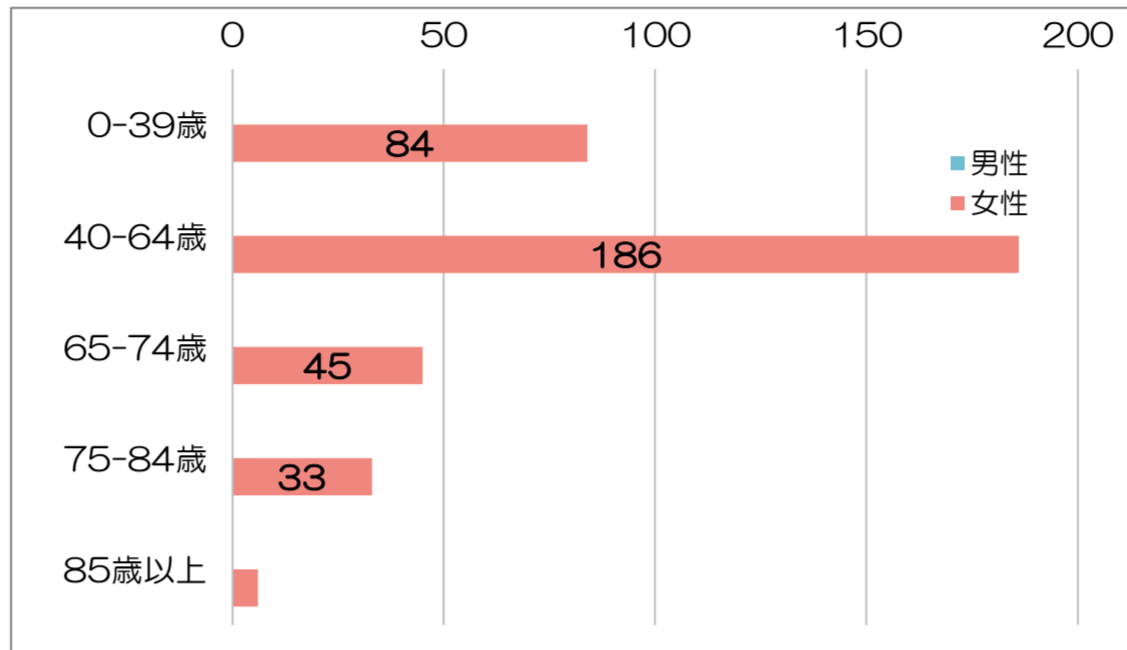
発見経緯



男女比



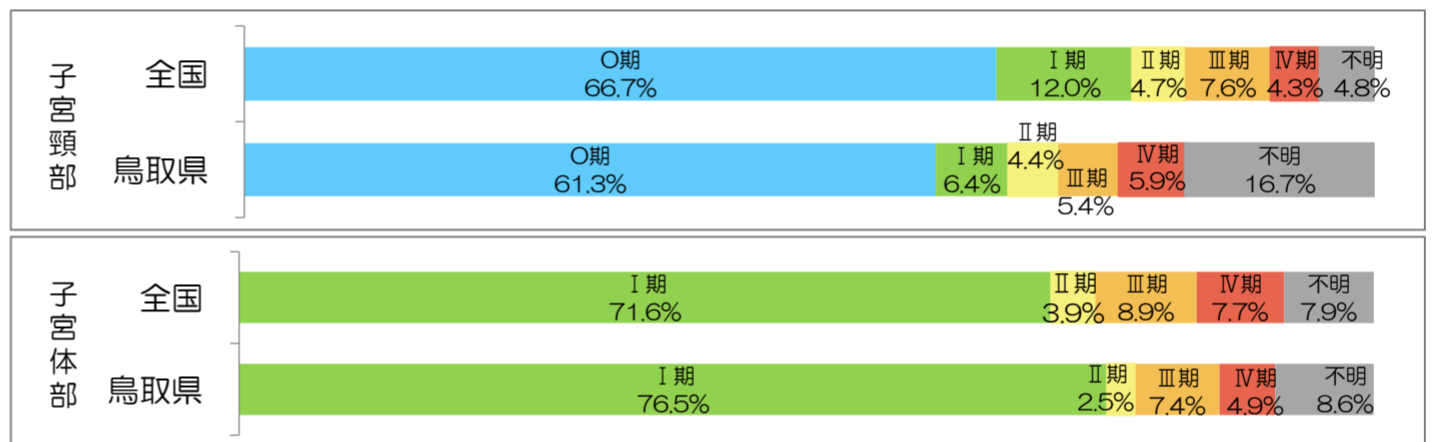
年齢別登録件数



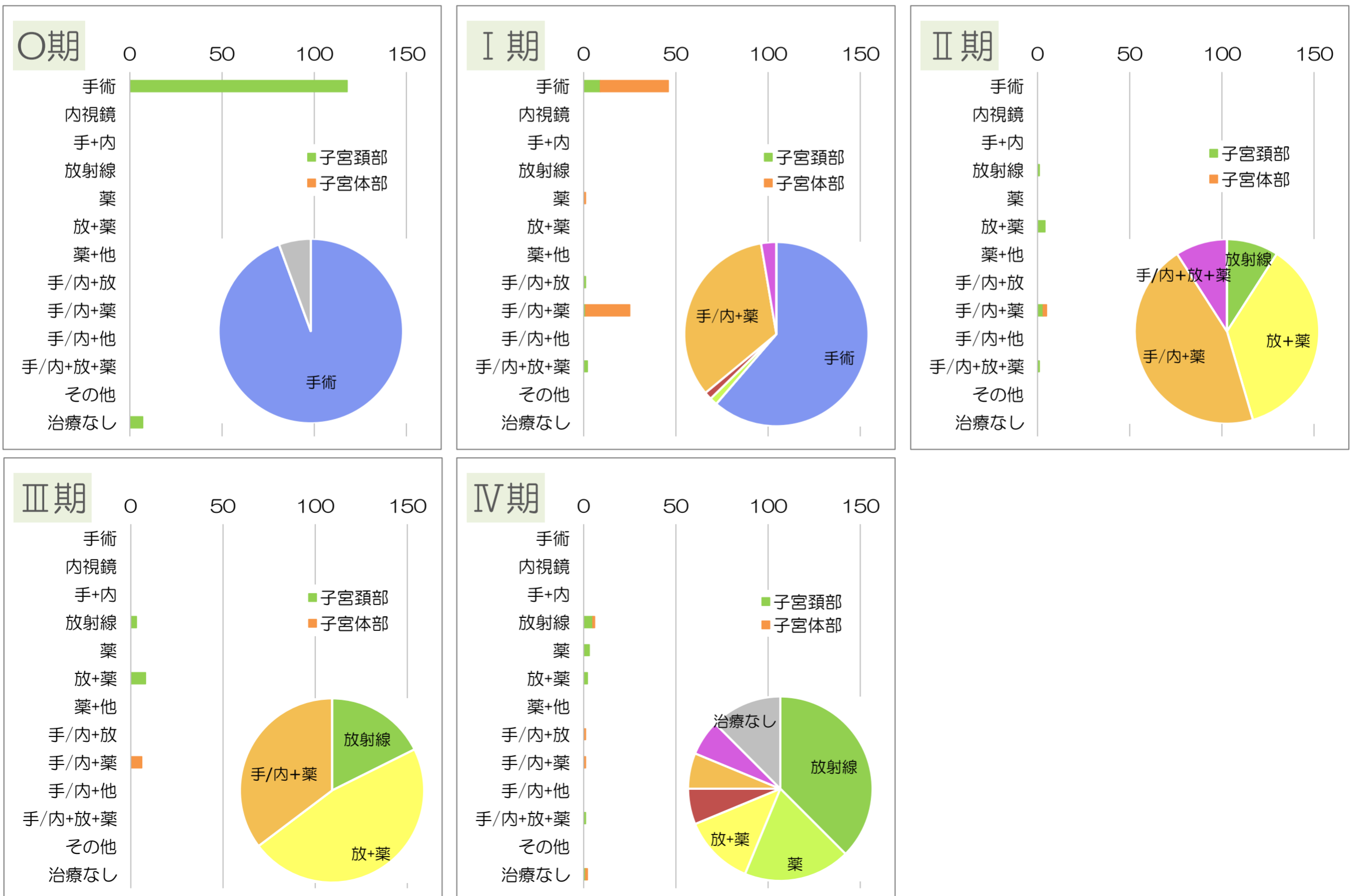
治療前ステージ別登録数

	〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
子宮頸部	125	13	(7-9)	11	12	34	204
子宮体部	-	62	(1-3)	(4-6)	(4-6)	(7-9)	81

治療前ステージ別割合



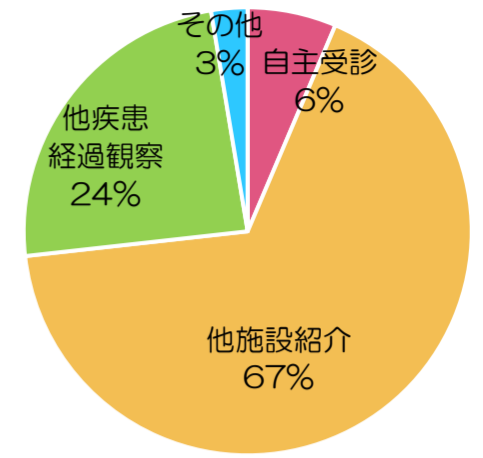
ステージ別治療方法



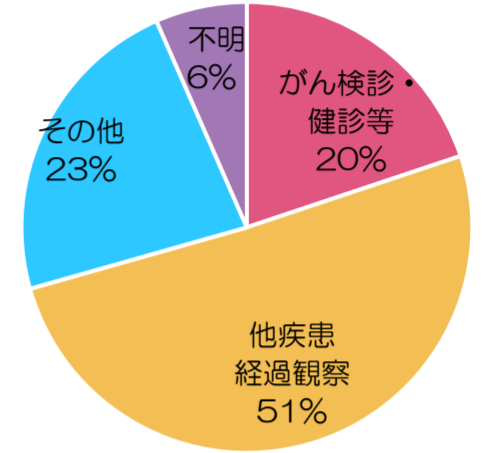
—前立腺 (2021)—

前立腺がんは、総数609件、年齢階級別には、65-74歳は253件と最も多く、41.5%を占め、65歳以上は90.1%を示す。
 ステージ別には、Ⅰ期で鳥取県が35.7%、全国が45.7%と最も多く、Ⅱ期、Ⅳ期はほぼ同じで、Ⅲ期は鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「薬物療法」、「治療なし」で7割、これに「放射線+薬物療法」「放射線」が加わり多種多様、Ⅱ期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、Ⅲ期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり90%となり、Ⅳ期では治療のほとんどが「薬物療法」で92%を占める。

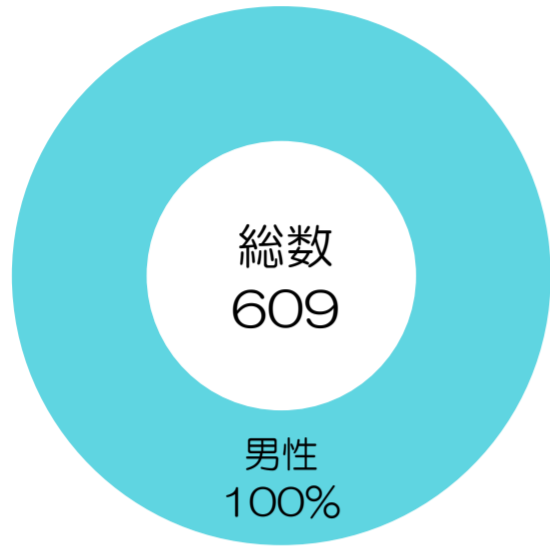
来院経路



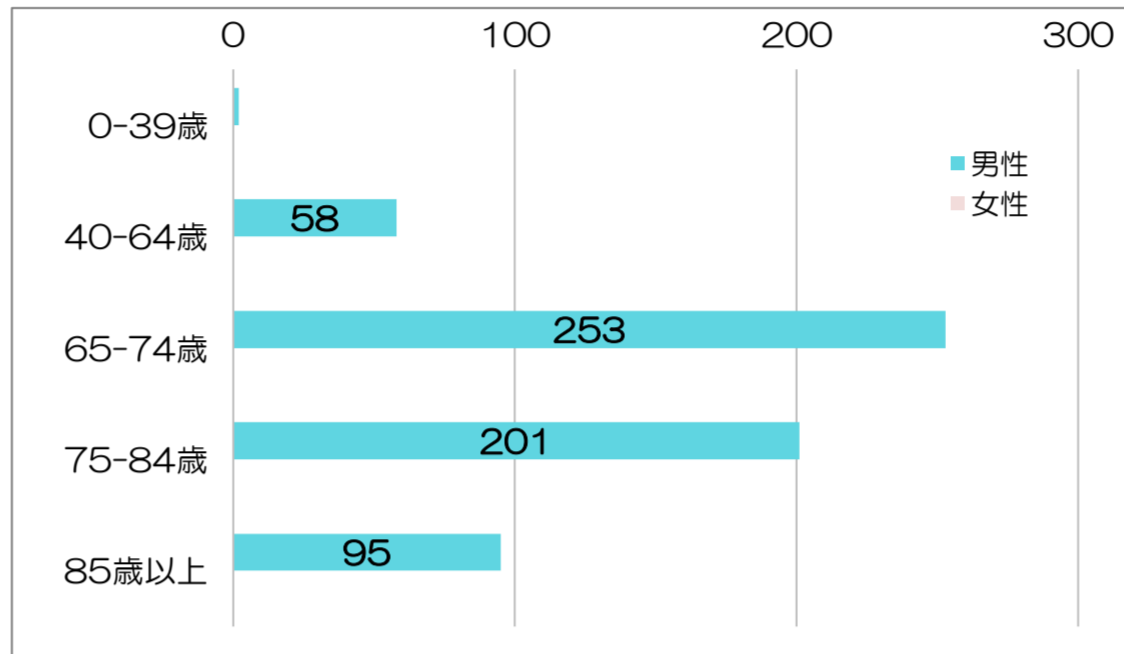
発見経緯



男女比



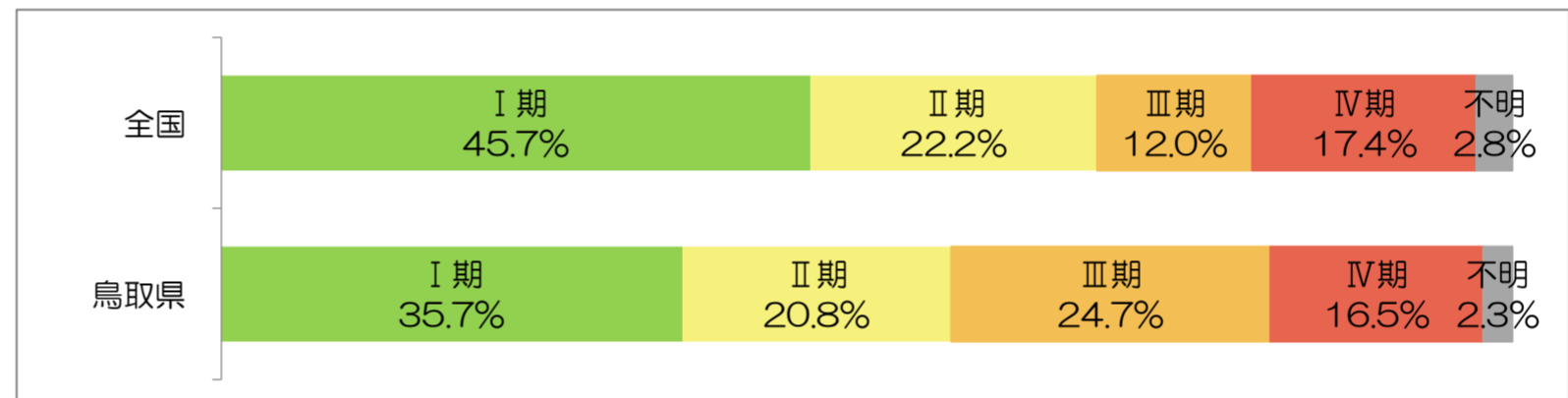
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
156	91	108	72	10	437

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

ステージ別治療方法

